

TOKYO URBAN TECH
工学院大学 校友会報

2010 vol.131



すべての警報器が、連動してお知らせ!



能美防災独自のアフターサービス

Service1 24時間サポート! まもるくん安心サービス
商品に関するお問い合わせを、24時間365日電話受付する窓口を設置しています。

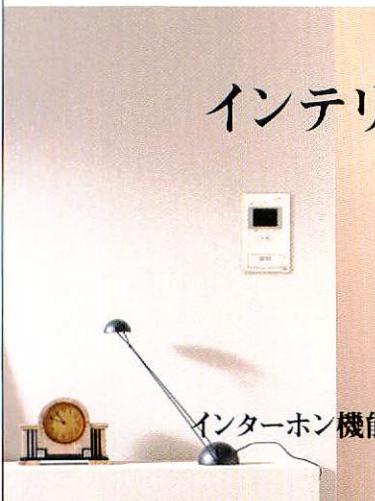
Service2 安心・便利! 生活救急車サービス
カギ・水まわり・ガラス・パソコンのトラブルに24時間365日対応いたします。
●ジャパンベストレスキューシステム(株)による提供サービスです。

音声警報式、電池寿命10年
無線式連動型住宅用火災警報器

まもるくんTO 

まもるくんTOは能美防災株式会社の登録商標です。

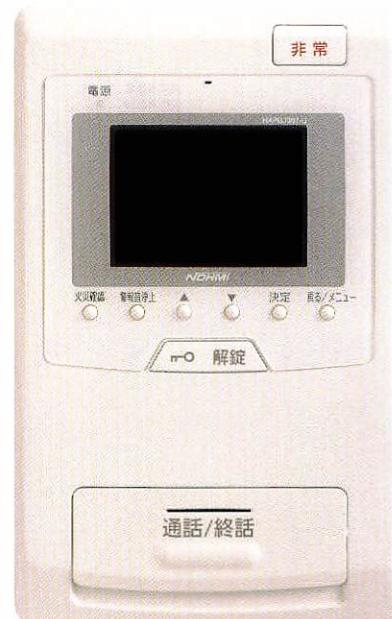
インテリアに溶け込み調和をくずさない。



カラーモニタ付住宅情報盤

QUASTY
Hi-Quality & Stylish
— クオスティ —

集合住宅の住戸内に設置される、
インターホン機能と火災受信機機能を兼ね備えた商品です。



*平成21年1月現在(平成17年総務省令第40号対応機器)

●クオスティは能美防災株式会社の登録商標です。

あなたを火災から守る、
スペシャリスト。

能美防災株式会社

<http://www.nohmi.co.jp/>

代表取締役社長 橋爪 肇 (昭和42.3 生産機械科卒)

常務取締役商品本部長 梶田和男 (昭和45.3 生産機械科卒) 卒業生 計34名

本社:〒102-8277 千代田区九段南4-7-3

まもるくんTO、クオスティのお問い合わせ先:商品本部 ☎03-3265-0224



2010年1月10日「新春の集い 2010」
新宿キャンパスアトリウム（285名出席）

Contents

校友会情報

会長あいさつ

新制度にもとづく校友会について 高田 貢	6
新春の集い 2010 報告 来住 康弘	8
全国支部長会報告 来住 康弘	9
東京支部の活動紹介 若林 勝司	10
埼玉全国大会の PR 黒澤 兵夫	11
122年の歴史に幕 山本 清	13

学園役員情報

啓蒙思想家としての渡邊洪基先生 理事長 大橋秀雄	14
校友会と大学との相互協力について 学長 水野明哲	15
太田忠之校長先生追悼	16
工学院大学附属中学・高等学校 校長挨拶 宮下正昭	17

学園 TOPICS

学校法人工学院大学創立 125 周年 特別企画	
古書三題 茅原 健	24
皇室建築と工手学校 浅羽 英男	26

同窓生記事

建築とランドスケープ・アーキテクチャに魅力を感じる 戸村 英子	28
私の道 溝上 俊治	30
FEM の出会いとその後 平野 嘉一	32
構造設計から学んだこと 細川 洋治	34
カッコいい大人を目指して 田中 和紀	36

黒をきわめる 白鳥 勲 38

卒業生情報

社会人キャリア力育成アセスメントを実施して 横山 修一	40
「修習技術者（JABEE認定コース修了者）と技術士」について 黒澤 兵夫	41

学園情報

工学院大学 校友子女特別選抜入学試験を実施します！	42
工学院大学 校友教諭在職高校特別推薦入試を実施します！	43
教員をなさっている卒業生・修了生の皆様、情報を寄せください。	43

校友会事務局からのお知らせ

校友会事務局からのお知らせ・お願い、計報	44
学園創立 125 周年記念事業募金のお願いとご案内	
校友会募金委員会	45
校友会役職者評議員	45
各部会の平成 21 年度活動報告	46
「第 65 回評議員会・第 54 回総会」開催のお知らせ	48
第 1 号議案 平成 21 年度事業報告、第 3 号議案 平成 22 年度事業計画（案）	49
第 2 号議案 平成 21 年度 収支計算書 貸借対照表 財産目録	
第 4 号議案 平成 22 年度 収支予算書（案）	50
第 5 号議案 平成 22 年度 支部総会開催予定表	
本部役員・支部長メールアドレス一覧	
企画・広報部からのお知らせ	51
表紙デザインのコンセプト、ホームページ、広告募集、編集後記	54



卒業生限定の転職支援&
同窓会コミュニティWebサイト

工学院大学校友会 卒業生バックアップセンター

開設予定のご案内

2010.4.1
オープンです!!
(予定)

**工学院大学卒業生だけが利用できる
キャリアアップ&コミュニティサイト
2010年4月1日オープン予定です!!**

卒業生であれば
どなたでも
ご利用できます!!

工学院大学卒業生だけが利用できる
高機能なWebサイトがオープンします!
卒業生限定の転職情報が見られる「キャリアアップ」や、
同窓生を検索できる「コミュニティ」など
暮らしを彩る、色々な機能が充実。
転職活動や技術交流、懐かしの同窓生との
連絡にぜひご活用ください!

**ただいま
先行会員登録
受付中!!**



仮登録にてメールアドレスだけで登録いただければ
サイトオープン時にご案内メールをお届けします!



先行会員登録URLはこちら! 今すぐアクセス!! ※PCからのみのご利用となります。
また登録は一切無料です。ぜひ登録ください。

<http://www.sotsugyousei.com/kogakuin/>

[卒業生バックアップセンター]ではこんなことができます!!

[キャリアアップ]



探し! 理工系に特化した
詳細な求人検索
理工系向け求人ならではの
詳細な業種・職種検索が
できます!

出会う! 企業からのスカウト
卒業生限定で公開される
求人情報を閲覧、企業からの
スカウトも受けられます!

[コミュニティ]



同窓会に活用できる
コミュニティ機能や
キャリアアップを支援する
機能が満載!!

見つかる! 名前を忘れちゃった
同期も一発検索!

「同窓生かんたん検索」で、
自分の卒業した学部・学科の
同窓生が簡単に探せます!

話せる! メッセージ機能も充実!
相手のお名前だけで
メッセージもかんたんに送信!
メールアドレスは不要です。

実際のご利用はサイトがオープンしてからになります。まずは先行登録を!!

お問い合わせ先 : 工学院大学校友会 TEL.03-3342-2064 FAX.03-3342-2035 e-mail:jimukyoku@kogakuin.or.jp

※「工学院大学卒業生」とは、学校法人工学院大学が設置した学校を卒業した全ての卒業生を指します。

※サイトデザインは全てイメージです。実際のトップページとは異なります。



おかげさまで、日立グループは創業100周年



次の時代に、新しい風を吹き込んでいきます。

HITACHI
Inspire the Next

日立の樹オンライン www.hitachinoki.net

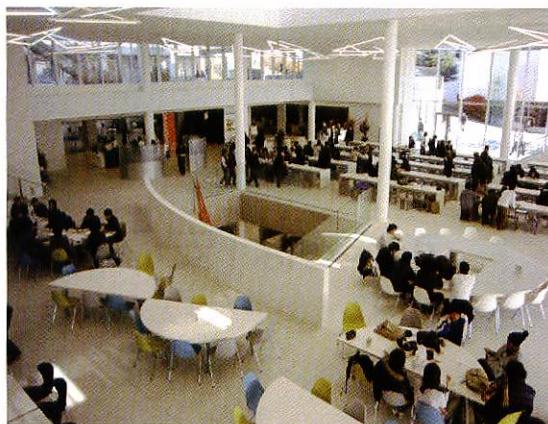
◎ 株式会社 日立製作所 〒100-8280 東京都千代田区丸の内一丁目6番6号 電話(03)3258-1111(大代)

来校の節は是非お立ち寄り下さい。懇親会も出来ます。
これからも宜しくお願ひします。



新宿キャンパス 7階の食堂
(懇親会は8階ファカルティクラブでも開催可能)

新宿食堂部 TEL03-3348-0147



八王子キャンampusチューデントセンター
800席の広い食堂

八王子食堂部 TEL042-626-3782

工学院大学学園生活協同組合

本部 TEL03-3346-3240 FAX03-3342-0980

e-mail: seikyo@kucoop.or.jp <http://www.coop-bf.or.jp/kogakuin>

ゆとり有る豊かな社会の実現への貢献

主な商品

- 電気部品材料(各種電気接点およびクラッド材料)
- 電子部品材料(金ボンディングワイヤー、封止材、各種ペースト)
 - 触媒(燃料電池、脱臭)
- 貴金属化合物(自動車排気ガス浄化触媒、めっき浴)
 - 各種めっき浴およびめっき装置
- 各種産業用白金製品(ガラス関係装置、理化学機器用製品)
 - 医療関係(制癌剤用白金族化合物、マーカー)
- 各貴金属リサイクル(使用済み製品より貴金属回収・精製)

身近な使用例

携帯電話の機能で、バイブレーターがあります。
4ミリ位のモーターを使用しています。
そこに使用されている小さなブラシはほとんど弊社のものです。

田中貴金属グループ



田中貴金属工業株式会社

〒100-6422 東京都千代田区丸の内2丁目7-3
東京ビルディング22階
TEL (03) 6311-5511(代表)
㈹ 0120-266011
URL : <http://www.tanaka.co.jp>

すべては「安心と快適」でつながっている。

「安心と快適」を支えるインフラを、私たちがつくり、見守っています。
社会にも、暮らしにも、地球にも気持ちいい。
それが、関電工の技術と経験の活かし方です。

株式会社 関電工 <http://www.kandenko.co.jp>

株式会社ヂーマグ

当社は 1990年創立で、
「地球環境を大切に」をモットーとし、
資源、エネルギーを守り、
自然環境に貢献する
磁気装置の専門会社です。

*商品紹介：1.永久磁石式アルミニウム溶解炉攪拌機
：2.選択帶電型静電選別装置
：3.その他 1).廃棄物関係 12種類
2).水関係 7種類
3).大気関係など

*特許件数：59件

*主な取引先：新日鐵、トヨタ自動車、東芝など

*海外支社：米国・中国・韓国

*海外工場：中国杭州(2005年に中国との合弁会社
設立：資本1億・社長：高橋謙三)

CAD設計技術者および開発技術者募集

何なりとお気軽にご相談下さい。とにかくアクセスしてみて下さい。

所在地：〒277-0941 千葉県柏市高柳1143-3(東武野田線・高柳下車徒歩3分)

代表取締役 高橋 謙三(本学機械工学科1970年卒)

sales@zmag.co.jp

TEL: 04-7193-1620 FAX: 04-7193-1621



くつろぎ、味わい、楽しむ。

ホテルのあたたかさ
感じてください。

京王プラザホテル

〒160-8330 東京都新宿区西新宿2-2-1

TEL. (03) 3344-0111

<http://www.keioplaza.co.jp/>

JR・私鉄・地下鉄「新宿駅(西口)」「西新宿駅」より徒歩5分
都営大江戸線「都庁前駅」B1出口すぐ



会長あいさつ

新制度にもとづく校友会について



校友会会长 高田 貢

今年も新人事の報道が目立つシーズンとなってきました。工学院大学校友会におきましても本年は役員の任期（一期三年）を迎え、評議員、理事、監事および各執行部人事が新たに選任され就任いたしましたのでご報告申し上げます。また会長人事につきましても長嶋秀世前会長が任期満了を機に退任されることになりました。その後任として理事会で、はからずも私が選任され就任いたしました。つきましては微力ではありますが会員の皆様のご期待に添えるよう努めさせていただく所存でございますので、前任者同様ご支援下さいますようよろしくお願ひ申し上げます。

さて、校友会のルーツを探ると今から 111 年前の 1899 年に工手学校同窓会の設立にはじまり、18 年後の 1917 年に財団法人としての組織化が確立されております。その後、第二次世界大戦の戦局が厳しくなった 1943 年に活動を中止し、幾多の変遷の後、1952 年に校友会と改称され再出発しております。また、1957 年に再び社団法人に改組され、近年には多事多難な時期もありましたが構造改革などの対応により現在に至っております。

この所、我が国に於いて公益法人関連の不祥事が目立つようになり、公益法人改革関連法が制定されました。これにより社団法人工学院大学校友会はその主務官庁である文部科学省から、この関連法施行についての指導があり、調査検討の結果、理事会と 2009 年開催の総会で一般社団法人に移行することが決議されております。このことにより校友会は、2013 年までに「一般社団法人工学院大学校友会」として、新制校友

会が誕生し、再々度の出発をすることとなっております。これを機に、校友会本部、支部、同窓会の位置づけと役割を見直し、校友会の新時代に相応しい機構改革を実施し、校友会活動の活性化を図り、会員の皆様から支持され親しまれる校友会に脱皮させることが、新執行部の重要課題であると考えております。

また、校友会事業の主目的を要約すれば次の二点となります。

- 1) 学園の教育事業への援助により学園の発展に寄与する。
- 2) 会員相互の親睦提携を図る。

いまわが国では少子化、ボーダレス化の影響を受け未曾有の変革時代を迎え、産業界や教育界に大きな変化の波が押し寄せております。これに対し産業界では機敏に対応し、生き残りをかけた事業のグローバル展開など、構造改革を果敢に推進しております。これから本番を迎える教育界の優勝劣敗時代に教育現場の生き残りをかけた改革が急務となっておりますが、我々の母校、学園においても、この難局を切り抜けるための対応が急がれ、その諸施策が 125 周年記念事業をはじめとして現在進行中であります。校友会と致しましても事業目的である学園の発展に寄与するための活動を積極的に推進してまいりますので、会員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

次に「会員相互の親睦提携を図る」ことは校友会活動の原点であります。会員にとって学園は母校であり、また学生時代の話題や思い出を共有するスクールメートであります。現在校友会に住所登録されている校友



副会長
谷口宗彦



常任理事
総務部長
福田忠彦



常任理事
財務部長
並木光雄



常任理事
企画・広報部長
三宅捷夫



常任理事
組織・事業部長
来住康弘



常任理事
学園連携部長
佐藤浩安



常任理事
総務部副部長
大津幹太郎



常任理事
総務部副部長
飯塚辰典



常任理事
財務部副部長
小沢和重



常任理事
企画・広報部副部長
佐久間惣喜



常任理事
組織・事業部副部長
谷政美



常任理事
学園連携部副部長
渡辺征三



監事
田中英生



監事
吉岡利幸



監事
高橋一元



事務局長
渡辺征一郎

は約 67,000 名であります。学園の記録によれば約 10 万余名の校友が国内外の各地で活躍されておられることになっております。このスクールメートがそれぞれの立場や、それぞれの地域で仕事や趣味などで相互に親睦提携を深めることは情報化時代において大変有意義であると思います。会員の皆様も、この原点に立ち返り学園や校友会本部、支部の主催するイベントに積極的に参加していただき、各界の校友や恩師と親交が深められることは、学園を卒業した校友の特権であり宝であると思います。また、激変する新時代において校友の皆様が社会で活躍し、エンジョイできるための憩いの場となるような校友会を目指し鋭意努力してまいりますので、会員の皆様のより一層のご支援をお願いすると共に、皆様の益々のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。

【会長プロフィール】

高田 貢 (兵庫県出身)

1962 年 (昭和 37 年) 工学院大学 電気工学科 (電子工学コース) 卒業

同年 フォスター電機株式会社に入社

1965 年 (昭和 40 年) Foster Electric Co.,(Hong Kong)Ltd. に出向 (3 年)

1970 年 (昭和 45 年) Foster Electric Co.,(Hong Kong)Ltd. に再出向・

専務取締役 (4 年)

1974 年 (昭和 49 年) Foster Electric Co.,(Singapore)Ltd. に出向・

取締役社長 (5 年)

1979 年 (昭和 54 年) 日本マイクロモータ株式会社に出向・取締役 (9 年)

1989 年 (平成元年) フォスター電機株式会社 取締役に就任 (4 年)

1992 年 (平成 4 年) 同社 常務取締役に就任 (1 年)

1993 年 (平成 5 年) 同社 専務取締役に就任 (1 年)

1994 年 (平成 6 年) 同社 取締役社長に就任 (11 年)

新春の集い 2010 報告

組織・事業部 部長 來住 康弘

1月10日に「新春の集い 2010」を開催いたしました。

昨年に引き続きアトリウムで開催をいたしましたが、今回は、経済事情も悪い中 285名の参加がありました。また今回は若い校友の参加も目立ち活気あふれる新春の集いになりました。これは各同窓会、各支部のご協力のお陰と感謝いたしております。

グリークラブによる校歌斎唱にはじまり、長嶋校友会会长の挨拶、大橋理事長の祝辞、鏡割り、乾杯の後、リノレコード鈴木麻由さん、松岡里果さんによるライブを楽しみました。今回の様に若いシンガーによるライブは初めての試みであり、主催者側とすれば参加者の校友の平均年齢と鈴木さん、松岡さんの歌とのギャップを案じておりましたが、皆が知っている歌もご披露いただき結果は心配無用でした。

引き続き豪華景品の抽選会があり、これらの合間、合間には懐かしい学友との歓談にも話が弾み、全く賑やかな新春の集いとなりました。

毎度のことながら、この楽しいひと時を校友の園木さんが写真に収めております。

受付時に「校友情報ネット」にメールアドレスを書いていただいた校友には、写真が出来上がった時点でパスワードをお知らせしますので、アクセスをして取り出してください。

また、会場の1階アトリウムの両側に出

入り口があるため“寒さ”対策が必要でした。

前日から床暖房を入れて頂く等の寒さ対策やテーブルの準備、音響の準備等に柴田施設部長様他法人関係者には昨年同様ご協力をいただき、快適に歓談が出来たことを、紙面をお借りしてお礼申し上げます。



1階アトリウム 新年会風景



左より大橋秀雄理事長、長嶋秀世会長、水野明哲学長、宮下正昭校長、吉田伸郎常務理事



会場風景



豪華景品当選者



リノレコード鈴木麻由さん、松岡里果さんも出演

平成 21 年度全国支部長会報告

組織・事業部 部長 來住 康弘

近年「支部長会」は毎年開催をしておりましたが、今回から「支部長会開催規程」に則り開催をいたしました。

11月2日（月）新宿キャンパス28階の第1・第2会議室において、13時から17時までの4時間に亘り、テーマ「支部の活性化」に関し討議をしていただきました。

平日開催にも関わらず39名の支部長と1名のオブザーバーが参加、この内19名の支部長には翌日のホームカミングデーにも参加をしていただきました。

座長に谷政美氏（相模支部長）、副座長に唐鎌貞郎氏（埼玉県西支部長）、書記には白井精滋氏（湘南副支部長）に努めていただき、各支部が異なる事情を抱える中、共通のテーマを長時間スムーズに議事進行を

していただきました。

また開催に先立ち、支部長の皆様にはアンケートに協力をいただき、他支部の活動状況を事前に知ることができ討議の際に参考になったものと思います。

11月14日には討議のまとめを各支部長に送り、[今回の熱い、示唆にとんだご議論を当日のみで終結させるのではなく、是非、具体的「活性化策」のうち、各支部の事情に合わせ、ひとつでもチャレンジしていただきますよう、座長の立場からお願い申し上げます]と締めおられます。

来年は、ある成功例が他支部の参考になる様、意見交換ができる事を願っております。次期座長は湘南支部長志村豊氏であります。



全国 39 支部の支部長と校友会役員



意見交換中の出席者



「支部の活性化」について熱心に討議中

●東京支部紹介●



合同吟行バス旅行 21年6月6日～8日・華厳の滝にて

東京支部サークル紹介

東京支部支部長 若林勝司

全国の校友諸兄諸姉のみなさま、お元気ですか？

東京支部は創設19年目を迎え、学園の膝元の要の支部としてコツコツと、そして華々しく活動を続けております。

一昨年、昨年と別活動であった中野支部、新宿支部の方々が合流されたことを支部総会でご披露いたしました。

これにより支部は一段と強化されることになりました。

学園の先生方、隣接する支部の方々には、ご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

それでは、支部活動の源でもあります各サークル活動を以下にご紹介いたします。

東京支部では、年齢を超えた趣味の交流と交歓を楽しんで頂くため、現在、7つのサークルがあり、学園の先生方や隣接する近県の支部の方々にも参加して頂いて、明るく和やかに活動をしております。各々の活動は毎年「東京支部だより」にも掲載しておりますが、新たにスタートしたサークル、産声を上げようとしているサークル等々をご紹介します。先ず活動中のサークルは、囲碁将棋（毎月）、俳句・俳画（毎月）、ゴルフ（年2回）、写真（毎月）、社会見学（年2回）、経営研究（年2回）等が地道に活動をしております。

残念ながら釣りサークルは休止中ですが、現在、学園の先生方をはじめ、広く校友の中に隠れた釣り人を探

し、活動の協力者を募っている最中です。

新たにスタートしたのは、ボウリングサークルです。21年9月に都内高田馬場に於いて、13名の校友参加のもとスタートいたしました。久し振りにマイボール、マイシーブで頑張られた往年の青年（？）達は、スコアもそれなりに良かったようです。なかでも、長嶋会長は群を抜いて、204、251、と平均された高スコアを出され、皆を驚嘆させ、何事にも真剣に取り組まれる姿には、心を打つものがありました。ゲーム後の昼食会で、今後もボウリングサークルを続ける意向が参加者の総意で確認されました。

皆様も参加されませんか？隠れボウラーを探しておりますのでよろしくお願いします。

また、新たに産声を上げようと待機中のサークルには、詩吟、茶道、麻雀等があります。いずれも活動の場所、運営方法など範囲が限定されますので詳細を検討しております。近いうちに、満を持してご紹介が出来る日が来ることを願っております。

以上、駆け足でご紹介してまいりましたが、参加希望者は別掲各幹事宛お問合せください。

なお、東京支部は任意の団体ですので校友のみならず、ご家族や親しい友人などの参加を歓迎しております。気兼ねなくお問合せの上、ご参加ください。

これからも、明るく楽しい「校友の輪」を広げる努力を続けてまいりますので、諸兄・諸姉のご支援、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

（文責・副支部長 三宅捷夫）



東京俳好会・例会 談話室にて



東京写好会・展示準備打合せ 談話室にて



経営研究サークル・見学会
都立産業技術研究センター



社会見学サークル・見学会
福生・田村酒造所にて



ボウリングサークル・発会式
高田馬場ビッグボックスにて



東京写好会・撮影会 白山界隈を散策

- 囲碁・将棋サークル … 月1回・例会、年2回・囲碁大会を開催している。 担当幹事 岡部 勝 Tel・0423-94-2239. Fax・0423-396-4147.
- 俳句サークル … 月1回・句会、年1回・吟行を開催している。 句会は2部制で前半を書画の勉強会、後半を句会としている。
担当幹事 池谷英夫 Tel・03-3954-2515. Fax・03-3954-2518.
- ゴルフサークル … 年2回・春秋にコンペを開催している。 担当幹事 浅見利夫 Tel・03-3421-6473. Fax・03-3421-6473.
- 写真サークル … 月1回・例会、年4回・撮影会を開催している。 毎年初夏に作品展を隣接のエステックビルにて開催している。
担当幹事 木下忠雄 Tel・042-642-7051. Fax・042-642-7041.
- 社会見学サークル … 年1~2回・民間施設等の見学会を開催している。 担当幹事 三宅捷夫 Tel・042-364-6389. Fax・042-364-6389.
- 経営研究サークル … 年1~2回・社会施設等の見学会を開催している。 担当幹事 芦田拓也 Tel・03-3577-5466. Fax・03-3577-5466.
副幹事 伊井宏聰 Tel・03-3267-2387. Fax・03-3267-2387.
- 釣りサークル … 休止中(同好の有志を募集中です…事務局まで) 連絡先 東京支部 Tel・03-3342-2064. Fax・03-3342-2035.
(新規)
- ボウリングサークル … 企画中(同好の有志を募集中です…事務局まで) 担当幹事 勝俣邦雄 Tel・03-5386-2421. Fax・03-5386-2497.

★会員募集……上記サークルは随時入会を受け付けておりますので、各幹事宛お問合せください。

第17回全国大会埼玉大会について

埼玉大会統一スローガン 「埼玉大会～校友 彩の国へ集う～」

大会実行委員長 黒澤 兵夫

埼玉大会は次の要領で開催します。
校友のみなさま、是非ご参加をお願い申し上げます。

—————記—————

1. 期日:2011年(平成23年)10月8日(土)および9日(日)
2. 場所:さいたま市
3. プログラム:

- ①第一日(10月8日(土)午後)浦和ロイヤルパインズホテル
- ・記念式典
 - ・記念講演会
「現代に生きる渋澤栄一と企業家スピリッツ」
<学園誕生に大きく貢献した実業家渋澤栄一氏の起業家精神>
渋澤栄一記念財団 理事長 渋澤雅英氏
 - ・祝賀会

- ②第二日(10月9日(日))オプションツアー
- ・半日コース:ビートルズ・ジョンレノン博物館-漫画会館-氷川神社
 - ・1日コース:鉄道博物館-盆栽村-小江戸(川越)
 - ・1泊コース:長瀬渓谷-宝登山-三峰神社-温泉(鉱泉)
宿泊場所・・・(秩父)予定
式典から参加した場合、2泊3日の日程となります。
 - ・その他(ゴルフ等希望があれば設定したいと思います)



埼玉大会の会場となるパインズ ホテル

卒業生(校友会会員)の求職・転職サポートします!

工学院大学OB生登録者数350名、採用実績70名! 多くの方々にご利用いただき、スキルを活かした転職に成功しています。

校友会では、多様化する社会情勢に対応するため2007年より、建設・土木・不動産系を中心とした、日建学院グループ職業紹介専門企業「ニッケン・キャリア・ステーション」とタイアップし、会員の皆様の求職・転職をサポートするシステムを整えています。充実のキャリアプランの実現へ、本システムをご活用下さい。

■ 職業紹介事業に対する意識

より確かな人材を求める企業側の需要と、優良人材の引き合わせを行なう職業紹介事業－「たくさんの情報の中から、選択することができる」「専門機関として第3者が間に入ることで、企業側の正確な情報を知ることができ、応募する前の選別がしやすくなる」など、多くのメリットが認知され、ご利用価値が高まってきています。

■ ニッケン・キャリア・ステーション

(厚生労働省大臣許可13-ユ-090149)とは
日建学院グループ、建築業界を中心に特化した職業紹介・人材派遣のエキスパート企業です。
〔ニッケン・キャリア・ステーションの強み・特長とは…〕
・業界特化の職業紹介会社：業界に精通し、質量共に充実の技術職仕事紹介を主体に行っています。

・日建学院グループ：グループの持つ全国ネット

トを活用した広域での職業紹介も可能です。

・「心をこめたお手伝い」：コンサルティングを通して、若手からシニア層まで、その方の可能性を拓げる前向きな就職・転職のお手伝いを行っています。

社員数：125名(社員25名／派遣社員100名)

拠点：本社(池袋)・大阪

顧客企業：5,500社／登録人数16,000名

／工学院大学卒業生登録者数：350名

(内、正社員採用実績：70名)

■ 日建学院（建築資料研究社）

…ニッケン・キャリア・ステーション親会社
全国133校、建築系国家資格取得教育業務を主体に、建築関連専門誌の発行なども手掛ける企業。建築系資格取得では昨年40周年を迎え、毎年約10万人の講座終了実績があります。

■ 登録希望のお申し込みは…

直接「ニッケン・キャリア・ステーション」へご連絡下さい。

求職登録は「ニッケン・キャリア・ステーション」へ電話もしくはメールで、連絡。窓口の担当から今後の流れをご説明致します。

*登録から仕事の紹介まですべて無料です。

*個人情報など厳守されます。

お仕事紹介システム

工学院大学
校友会会員
求職登録申込



ニッケンキャリア
ステーション
求職登録完了

【求職登録申込連絡先】 詳細はホームページまで… <http://nikkencs.co.jp>

フリーダイヤル 0120-810-298

TEL 03-3980-5181

Mail info@nikkencs.co.jp



122年の歴史に幕

専門学校同窓会
会長 山本 清

平成18年度に専門学校は募集停止しました。その後最後の卒業生を平成20年に送り出し、平成21年4月23日付で廃止届けが認可され、「工手学校」から「工学院専修学校」「工学院大学専修学校」「工学院大学専門学校」へと変遷した専門学校はその122年もの長い歴史に幕を閉じました。その間学窓を巣立った卒業生は5万2千余名であり、各分野で活躍をしてきました。

その輝かしい歴史の幕を閉じるにあたり、工学院大学専門学校の不朽の名を残す目的で顕彰碑（記念碑）を建立する計画が学園常務理事会で決定し、数回の委員会で検討され、中層棟南側の植え込み部分に建立されました。平成21年10月31日の創立記念日に学園関係者、専門学校元教職員、

大橋理事長と山本会長による除幕



関係者の記念撮影



工学院大学専門学校の淵源は、中堅技術者を養成する教育機関として、渡邊洪基、辰野金吾、古市公威などにより明治二十年落成に創設された工手学校である。昭和三年工学院と改称した本科が、昭和二十四年工学院専修学校となり、以降、小浪博校長など尽力により工学院大学専修学校から工学院大学専門学校へと昇格する中で、実践的工学教育をとおして、我が国工業界の発展に寄与してきた。この間、学窓を巣立った卒業生は5万2千余名。これらの卒業生たちが苦々と革いた伝説は、工学院大学に継承されている。今、その輝かしい歴史を閉じるにあたり、卒業生たちが残した確固たる礎を顕彰するとともに、工学院大学専門学校の不朽の名を刻し、ここに記念碑を建立する。

平成二十一年十月三十一日

学校法人工学院大学



啓蒙思想家としての 渡邊洪基先生

理事長 大橋秀雄

新しいミレニアムと新しい世紀の到来を眩しいような思いで迎えたのは、ついこの間のような感じがしております。早いもので、もう10年が経ちました。新世紀は、むしろ波乱の幕開けだったと総括せざるを得ません。学園は、5年単位の中期計画で動いています。「ジャンプ21」を終えて21世紀に突入し、それから「スタート21」を経て「ダッシュ21」の最終年度に入りました。今年度は、これまでの成果を冷静に自己評価し、2011年度から始まる次の中期計画を策定しなければなりません。その先の2012年は、まさに学園創立125周年に当たります。記念募金を始めとして多くの校友から多大なご支援を頂きましたが、これからも車の両輪のように助け合い、前進を続けてまいりましょう。

記念事業の一環として、学園史の編纂が進んでいます。創立者渡邊洪基先生は、外交官、知事、帝国大学総長、国会議員、学校や事業の創設者など、そのマルチ人間ぶりはよく知られていますが、啓蒙思想家という新しい観点から、以下にその業績に触れてみます。

岩波書店から発行された全23巻の「日本近代思想大系」のなかで、第14巻が「科学と技術」に当てられ、明治以降の近代化の過程で科学と技術に思想的な影響を与えた38編の論説や講演記録が再録されています。そのうち2編が洪基によるもので、明治19年に東京化学会で講演した「理化両学の功益を民間に播布せんことを務むべし」と、明治25年に工学会総会で講演した「技術者責任に就いて」がこれに当たります。前者の講演は、先ず技術は理化（現在の科学に相当）に基盤をおかなければ発展性がない、従って技術を学ぶものは理化、数学の基礎を疎かにしてはならないと説きます。これが、工手学校以来基礎を重視した本学の伝統に繋がっています。また、科学は技術の発展を通して社会に還元されなければならないと言い切って、科学と技術を一体としてとらえる今日の「科学技術」の概念が、すでに洪基の頭の中にあったことを示しています。これに加え、学術は単なる知的な営みでなく、その功益が社会に繋がっていることを、大人、とくに子供に理解させる必要があると強調しています。これも、理科教室などを通じて啓蒙活動に努める本学の伝統に繋がっています。

後者の講演は、文字通り技術者には固有の倫理が求められることを説いたもので、欧米に先駆けて技術倫理に言及した先進的な思想を表しています。これも本学の伝統に生きています。

極めて短い紹介ですが、啓蒙思想家としての渡邊洪基先生をぜひ再認識してください。



校友会と大学との 相互協力について

学長 水野明哲

工学院大学校友会の活動は全国規模で、各地方支部が活発な活動を展開されています。昨年10月には兵庫県支部の創立30周年記念行事にお招きをいただき、「工学院大学の現在・過去・未来」についてお話しさせていただきました。30名ほどのご参加の皆様には熱心に話を聞いていただき、質疑応答も活発に行われました。皆様と工学院の誇るべき歴史を共有できたことはとても有意義なことであったと思っています。ただ、少し驚いたことは、神戸で働いている私の研究室の卒業生2名に連絡をとったところ、この催しについて知らなかったということでした。2人とも私の連絡で催しに参加してくれ、その場で支部の会員登録をしていました。それまでは会員登録をしていなかったため、支部でも彼らのことは認識がなく、今回の催しの連絡が届いていなかったようでした。

人脈は私たちの人生を豊かなものとし、社会で活躍する上では大きな力にもなります。本学で学んだ卒業生が、共に学んだ仲間たちや先生方といつまでも親交を保ち、本学が皆様のよい人脈を育てるホームグラウンドになることは大変喜ばしいことです。しかし、最近は個人情報保護の観点から名簿等を作成することがためらわれる風潮があり、困ったものです。名簿を共有していれば、同級生の友人が音信不通であることなどがすぐに分かり、年賀状の交換をしている友人から情報が入ることなどがあるでしょう。私は勤続30年を過ぎ、たくさんの卒業生を送り出してきましたが、やはり学生と密接な関わりのある指導教員が研究室の卒業生の連絡先をデータベース化する必要があるのではないかと感じています。インターネット環境が整備されている時代ですから、やり方を工夫すれば、ある程度の努力でデータベースを作ることができるのでないかと思います。

ちょうど校友会でもウェブを使った会員相互間の連絡網の構築が進められているようです。先述のような研究室単位の連絡網の構築と校友会との連携が図られれば、よりスムーズに全学的な連絡網を展開することができるようになるのではないかでしょうか。

校友の皆様には、これまでもその深い愛校精神から、忙しい仕事の合間を縫って高校訪問をしてくださる等、本学の発展のためにさまざまご協力をいただいており感謝の念にたえません。そうした皆様の御心を無にしないよう、大学も進むべき方向性を明示し、さらにさまざまな点で協力関係を築いていくことが大切であると考えています。そしてまずは活動の基本となる卒業生の情報構築を進めることの重要性を感じています。今後とも、校友の皆様にはご協力の程よろしくお願ひいたします。



工学院大学附属中学・高等学校 校長 太田忠之先生ご逝去

太田忠之校長先生 ありがとうございました。

太田忠之 校長

1942年（昭和17年）1月30日生 享年67歳

太田忠之先生は、イタリア ベネチアで2009年8月3日、急死されました。

学歴

1960年（昭和35年）3月 岩手県立盛岡第一高等学校卒業
1960年（昭和35年）4月 東北大学理学部入学
1964年（昭和39年）3月 東北大学理学部物理学科卒業
1964年（昭和39年）4月 東北大学大学院原子核理学修士課程入学
1966年（昭和41年）3月 東北大学大学院原子核理学修士課程修了理学博士 理修第595号
1966年（昭和41年）4月 東北大学大学院原子核理学博士課程入学
1969年（昭和44年）3月 東北大学大学院原子核理学博士課程修了理学博士 理博第177号

職歴

1969年（昭和44年）4月 日本学術振興会奨励研究員（東京大学原子核研究所）
1970年（昭和45年）9月 成蹊大学工学部助手
1975年（昭和50年）12月 宮城教育大学助教授
1988年（昭和65年）4月 宮城教育大学教授
2006年（平成18年）4月 工学院大学附属中学・高等学校 校長就任



太田校長先生が生きた証

高等学校 教頭 橋本 勉

校長先生は、たくさんの方の話と気持ちを受け入れて下さいました。でももう永遠に続きはかなわぬものとなりました。校長室のドアは、いつも開け放たれていました。このことは、人をシャットアウトしない、先生の生き方そのものを象徴しています。先生は、万人に対して心の扉を開いていました。“そこまで悩まなくていいのに”と周囲が思うくらい、誠実にあらゆることをお考えになっていました。このような生き方を持続することによって、先

生はどういう世界の実現を目指していらしたのでしょうか？先生の大きさを測る物差しを、私は持ち合わせていません。これからも手に入りそうもありません。先生をこの世界から失った大きさに打ちのめされています。でも先生の感化を受けた人はたくさんいます。記帳所にはたくさんの方のお名前とともに、たくさんのメッセージが投函されていました。これらから、先生が生きた証が少しは見えてくるのではないかでしょうか。それを追悼の一助と

したいと思います。

先生は、本校に惜しみない愛を注ぎ、学校の発展を考えていらっしゃいました。先生は、現状分析と今後の道筋をイメージした上で、「私は、やがてはこの学校を去る身です。ですから、先生方ご自身が将来のビジョンを構築して下さい。」としばしばおっしゃっていました。それは、私たちみんなの心に浸みています。

先生のご冥福を心よりお祈りいたします。



卒業生から

入学当時、私は地元からは自分が通わない事やどのような学校か知らない事で不安でしたが、朝同時に太田校長先生を見た時に、「この学校は絶対にいい所だ。」と安心したの覚えています。もう太田校長先生の恥ずかしがった笑顔を見られないのは残念ですが、心に残る先生達やクラスメートに巡り合わせてくれた事に感謝しています。
20年度卒 男

教員から

先生の突然の訃報に接し、言葉を失っております。職員室に飾られ受け入れることができます。

先生は赴任当初から私が担任している生徒たちのことに関心を持っています。生徒たちの頑張りを大変高く評価していただいていると自負しております。

夏休みが終わり、生徒たちはそれぞれの充実した夏休みを過ごし、それぞれの進路に向けて邁進しております。どうか来世でも生徒の頑張りを見守っていて下さい。ご遺族の皆様のご心痛はいかばかりかと胸がつぶれる思いがいたします。お力をお落としのことと存じますが、どうか、お気持ちを強く持たれますよう心よりお祈り申し上げます。

教員 男

校長先生へ

私は特進一期生だったのですが、とても迷惑をおかけしてしまったクラスだったと思います。そんなクラスのわがままも、校長先生だったからこそいろいろ実現していただけ気がします。校長先生の最後の卒業生になったことは、さびしいことでもあり、めいよなことだったとも思います。いろいろおせわになりました。

20年度卒 女





工学院大学附属中学・ 高等学校 校長挨拶

校長 宮下正昭

前任者の太田忠之先生の後任として昨年10月1日付けで附属中学・高等学校校長に就任しました。本学園ならびに附属中学・高等学校の発展のため大変ご尽力され、また生徒の教育、指導に深い愛情を注いでこられました太田先生のご逝去は誠に残念です。同じ出身大学の後輩として、先生のお気持ちに背中を押されるような思いで大役をお引き受けしました。微力ですが、本学園ならびに附属中学・高等学校の発展のため全力を尽くす所存ですので、交友会の皆様にはご支援とご協力を宜しくお願ひ申し上げます。

さて昨年を振り返りますと内外を含め激動の年、大きな変革の年でした。アメリカではオバマ政権が誕生し、それまでの軍事力を背景にした強硬路線から対話を重視した国際的協調路線へ、また従来のアメリカでは到底考えられなかつた核のない世界を目指すなど外交政策や政策を180度転換しました。また日本でも民主党政権が誕生し、事業仕分けなどを通して大胆な改革に果敢に取り組んでいます。

その大きな変革の波が各学校にも押し寄せており、附属中学・高等学校を取り巻く環境も大変厳しくなっています。ご存じのように4月から公立高校が無償化され、公立と私立高校との間に深刻な格差が生じることになり、生徒の確保に向け、これまでにない危機感と緊張感を抱いています。少子化による生徒数の大幅な減少に加え、近隣の中学校・高校の一貫校の増設、さらに公立校の無償化という三重苦を乗り切るためには、全教職員が危機感を共有し、一丸となって努力することは当然ですが、保護者の方々に授業料を払っても是非入学させたいと思っていただけるような魅力とステータスを備えた学校造りが不可欠であると考えています。

また附属高校の卒業生の進路先ですが、昨年初めて他大学への進学率が工学院大学を上回りました。今後、工学院大学への進学率をいかにして高めてゆくか、その手立てが非常に重要であり、大学と附属高校とのより強い信頼関係ならびに協力関係の構築、工学院大学の魅力を生徒達に伝える機会をこれまで以上に増やす、女子学生の入学者を増やすため女子の大学院生に工学系学科の魅力と面白さを高校生に伝える機会をつくる、など新しい有効な手立てを考えていきたいと思います。

校友会の皆様には、附属中学・高等学校の現状をご理解いただくとともに、本校発展のため、今後ともご協力とご支援を宜しくお願ひ申し上げます。

① 附属高等学校吹奏楽部がアンサンブルコンテストで金賞を受賞

附属高等学校吹奏楽部は、1月5日の第32回東京都高等学校アンサンブルコンテストで、トロンボーン四重奏「序奏、主題と8つの変奏」(G. ティボール作曲)で、金賞を受賞しました。

② 機械工学専攻生が日本機械学会若手優秀講演フェロー賞を受賞

大学院機械工学専攻修士2年の小川充さんは、「膜由来幹細胞自己生成組織の力学負荷に対する応答」の研究発表で、日本機械学会若手優秀講演フェロー賞を受賞しました。

③ 化学応用学専攻生が軽金属学会平成20年度「軽金属希望の星賞」を受賞

2月2日、軽金属学会より大学院化学応用学専攻修士2年の児玉アニタさんの「電着法を用いたチタン多孔体へのハイドロキシアパタイトコーティング」に関する研究、同専攻修士2年の端本健さんの「結晶性アノード酸化アルミナ皮膜の誘電特性に及ぼす電解液種の影響」に関する研究が、それぞれ平成20年度軽金属希望の星賞を受賞しました。

④ 附属高等学校男子バスケットボール部が第34回春季市民大会で優勝

2月15日、日本工学院専門学校において「第34回八王子市民大会」高等学校男子バスケットボール春季大会(最終日)が行われ、附属高等学校男子バスケットボール部が、昨年秋の大会に引き続き秋春連覇を達成しました。

⑤ 三浦宏文学長がNHK総合「爆笑問題のニッポンの教養」に出演

2月24日のNHK総合「爆笑問題のニッポンの教養」に三浦学長(当時)が出演しました。テーマはFILE063「ロボットの虫」。ロボット工学の第一人者である学長が、昆虫規範型ロボットの研究開発に携わった経緯などについて語りました。



⑥ 建築学専攻生が「真の日本のすまい」コンペで林野庁長官賞を受賞

大学院建築学専攻博士3年の平井充さんが、2月26日、住宅産業研修財団の第6回真の日本のすまい提案競技において、共同制作者の山口紗由さん(日本女子大学大学院住居学科修士1年)とともに林野庁長官賞を受賞しました。



⑦ 東北福祉大学と「防災に関する相互支援協定」締結

3月9日、本学と東北福祉大学とが、防災・減災やボランティアに関する教育を共同で実施し、専門知識と社会貢献意識を持った学生ボランティアを育てる他、災害時の相互支援体制も整備していく「防災・減災及び災害時のボランティア活動に関する相互支援協定」を締結しました。

⑧ 中国科学院化学研究所と学術交流協定書を調印

3月11日、水野明哲副学長（当時）をはじめとした大学関係者5名が中国科学院化学研究所を訪問し、学術交流に関する協定を締結しました。

⑩ 応用化学科が「食品衛生管理者・食品衛生監視員」の養成課程として認定

応用化学科が申請していた食品衛生管理者及び食品衛生監視員の養成課程が、厚生労働省より3月27日付で認定され、養成施設として登録されました。2009年度からの応用化学科への入学者は、所定の科目を履修することにより、食品衛生管理者及び食品衛生監視員になることができます。

⑪ 阿相英孝准教授（応用化学科）が電気化学会平成21年度進歩賞・佐野賞を受賞

阿相英孝応用化学科准教授が、「電気化学的湿式プロセスに基づく固体基板表面のマイクロ・ナノ形態制御とその応用に関する研究」で、電気化学会平成21年度進歩賞・佐野賞を受賞し、3月30日に開催された同学会第76回講演大会で表彰を受けました。

⑨ 5大学が「防災に関する大学連携支援協定」を締結

3月17日、本学、大妻女子大学、神戸学院大学、神戸女子大学、兵庫医療大学の5大学は、「防災・減災及び災害時のボランティア活動に関する5大学連携支援協定」を締結しました。

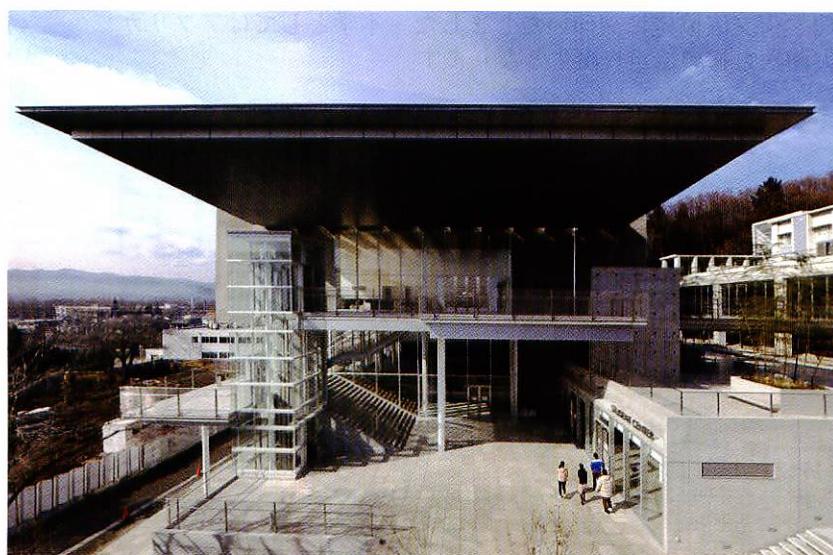


⑫ 本学名誉教授の2氏が瑞宝中綬章を受章

平成21年度春の叙勲受章（4月29日付）で、本学の田中元名誉教授と十代田昭二名誉教授が教育研究功労の功績で、それぞれ瑞宝中綬章を受章しました。

⑬ スチューデントセンターが「東京建築賞」優秀賞を受賞

八王子キャンパスのスチューデントセンター（澤岡清秀建築都市デザイン学科教授+山本・堀アーキテクツ設計共同体設計）が、第35回「東京建築賞」優秀賞を受賞しました。



14 情報学専攻生が「未踏 IT 人材発掘・育成事業 2009 年度上期未踏ユース」に採択

大学院情報学専攻修士 2 年の田中和紀さんは、情報処理推進機構 (IPA) の 2009 年上期「未踏 IT 人材発掘・育成事業 未踏ユース」にチーフクリエータ : 片山育美さん（多摩美術大学学部生）、コクリエータ : 大田昌幸さん（早稲田大学大学院生）とともに研究プロジェクトを組み、研究テーマ「思いが伝わる情報デザインツールの開発」で応募し、採択されました。

15 学生プロジェクト「KRP」が NHK 大学ロボコン 2009 本大会に出場！

学生プロジェクト「KRP（工学院大学ロボットプロジェクト）」が、6 月 7 日開催の「NHK 大学ロボコン 2009 ~ ABU アジア・太平洋ロボコン代表選考会～」に出場しました。結果は残念ながら予選敗退でした。

17 ナミビア大学と大学間学術協定書を調印

7 月 1 日、本学はナミビア共和国のナミビア大学との大学間学術交流協定に調印いたしました。本学としてはアフリカ大陸から初の協定校誕生となります。



16 建築学科藤木研究室がイギリスで展覧会（個展）を開催

藤木隆明建築学科教授は、イギリスの Beam Gallery より招聘を受け、藤木教授の建築作品と研究室でこれまでに行なってきた数々のプロジェクトを紹介する展覧会（個展）を 6 月 15 日より約 2 ヶ月半の会期で開催しました。この展覧会には、藤木教授の他に、大学院生 5 名も一緒にイギリスの現地に同行し、作品解説やワークショップの指導も行いました。



18 「戦略的大学連携支援プログラム」に選定

7 月、本学が東北福祉大学、神戸学院大学とともに申請していたプログラム「防災・減災・ボランティアを中心とした社会貢献教育の展開」が、平成 21 年度「大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム」に選定されました。

19 附属中学校演劇部第 36 回 東京私立中学校演劇発表会にて「特別賞」を受賞！

7 月 19 日・20 日の 2 日間にわたり、東京都全体で 16 校が参加して第 36 回東京私立中学校演劇発表会が開催されました。附属中学校演劇部は、中学 2 年生 2 名・1 年生 4 名の計 6 名で参加し、『ガーデン』という作品を上演し、「特別賞」（第 3 位相当）を受賞しました。

20 スチューデントセンターが北米照明学会より「グッドデザイン賞」を受賞

八王子キャンパスのスチューデントセンターが、7月に世界的に権威のある北米照明学会（Illumination Engineering Society of North America: IESNA）より、優れた照明デザインを行った建築作品に対して贈られる2009年「IES Award of Merit: グッドデザイン賞」を受賞しました。照明デザインは近田玲子デザイン事務所（近田玲子・野澤寿江）が担当しています。

22 電気・電子工学専攻生が電気設備学会発表奨励賞を受賞

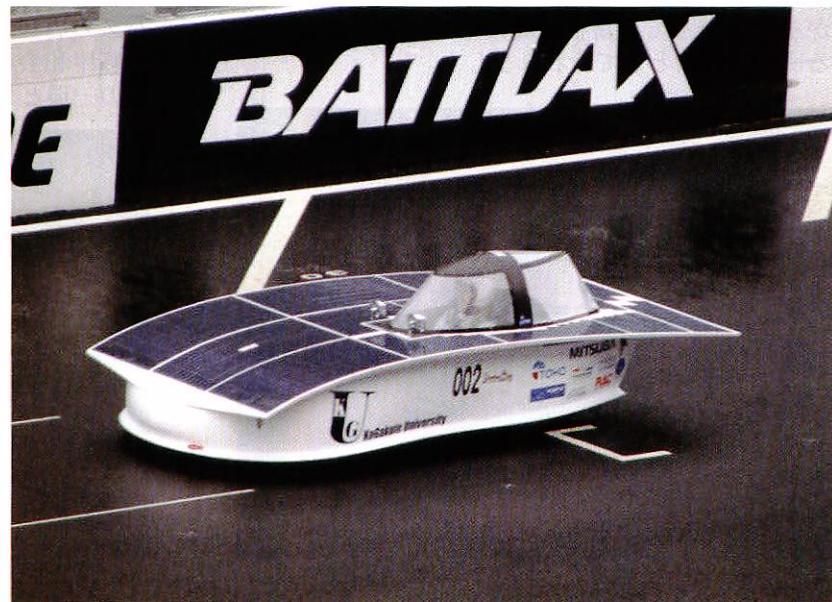
8月に開催された電気設備学会全国大会において、大学院電気・電子工学専攻修士1年の堀川 敦史さんが、研究テーマ「PVモジュール表面の汚染と光触媒による防汚」の口頭発表を行い、発表奨励賞を受賞しました。

24 中尾真一教授（環境エネルギー化学科）らの研究がCRESTに採択

分子レベルの先進的な膜技術の研究に取り組む、中尾真一環境エネルギー化学科教授を中心とする日立プラントテクノロジー、日立製作所、東京大学、東北大学の共同研究チームは、科学技術振興機構(JST)の平成21年度戦略的創造研究推進事業(CREST)の研究領域である「持続可能な水利用を実現する革新的な技術とシステム」において、研究課題「地域水資源利用システムを構築するためのIntegrated Intelligent Satellite System(IISS)の適用」で9月17日に新規採択されました。

21 新コンセプト：工学院大学ソーラーカーがデザイン賞受賞

学生プロジェクト「ソーラーカープロジェクト」が、8月2日に開催された国際自動車連盟(FIA)公認の「Dream Cup ソーラーカーレース鈴鹿2009」で、デザイン賞を受賞しました。



23 学生プロジェクト学生フォーミュラがスポーツマンシップ賞を受賞

第7回全日本学生フォーミュラ大会が、9月9日～12日の4日間、静岡県の小笠山総合運動公園で全国から80チームが参加し開催され、学生フォーミュラ（工学院大学レーシングチーム）が、最もスポーツマンシップの評価が高いチームに贈られるスポーツマンシップ賞を受賞いたしました。



25 新宿キャンパスで地震防災訓練を実施

10月15日、新宿キャンパスにおいて首都直下型地震を想定し、地震防災訓練を実施しました。この訓練は、本学や新宿区など新宿駅周辺の事業者から構成される新宿駅周辺地域防災対策協議会が主体となって、新宿駅周辺地域全体で実施される訓練の一環として行われました。



26 八王子キャンパスで地震防災訓練を実施

11月12日、八王子及び犬目キャンパスにおいて、首都直下型地震の発生を想定した地震防災訓練を実施しました。この訓練では、八王子キャンパス地震防災対策ワーキングが主体となって、キャンパスの周辺地域の地元自治会である八王子市・中野町甲和会の協力により、周辺地域と連携した訓練の一環として行われました。



27 「工学院大学 コーキシン研究室」を刊行

工学院大学コーキシン研究室編集委員会は、大学の研究活動と教員の人柄を広く深く知つてもらうことを目的に物語風の読み物「工学院大学 コーキシン研究室 25 のコーキシンの扉がひらく」(発行:ダイヤモンド・ビジネス企画)を11月に刊行しました。



28 野口尚一先生（初代学長）頌徳碑の移設除幕式

工学院大学後援会創立60周年記念事業の一環として、八王子キャンパスの体育館北側にあった野口尚一先生（初代学長）頌徳碑を、セミナーハウス松風舎玄関前に移設しました。11月14日には、大学後援会、法人、大学、校友会関係者の出席の下に除幕式を執り行いました。



29 福島県鏡石町で「出張理科教室」を開催

12月13日、福島県鏡石町で同町教育委員会の要請に基づいて、本学は地元の小・中学生に理科に対する知識を深め、創造力・思考力や実践力を養うための実験や楽しい工作などを体験してもらう「出張理科教室」を創立125周年記念事業の一環として開催しました。大学生・大学院生、大学学長、法人理事、大学教職員、高大連携の高校生徒、同教諭、そして本学学園同窓生ら約140名が参加し、11のテーマで理科実験を展開しました。



30 “The World University Student Innovation Camp”に本学学生が参加

第11回中国大学学生科学技術競技会“Challenge Cup Competition”的一環として、大学協定校の北京航空航天大学で同時開催された“The World University Student Innovation Camp”に本学学生が招待を受け、10月27日～11月1日に本学の代表として「工学院大学FCEVプロジェクト」メンバーの2名がこれに参加しました。

32 平成21年度一級建築士試験の本学卒業生の合格者数は全国で第5位

12月17日に国土交通省から、平成21年度一級建築士試験「設計製図の試験」の合格者が発表されました。本学出身の合格者は昨年より20名増えて102名、出身大学別合格者数では全国で第5位となりました。今年の一級建築士試験は、7月に実施された学科試験と合わせると、実受験者数46,942名、合格者数5,164名、合格率は11.0%でした。

31 日本IBMのクラウド・サービスでシステムを刷新

法人は、事務系基幹システムを日本IBMのパブリック・クラウド・サービスである「シェアード・ホスティング・サービス」を活用して刷新しました。これにより、大学事務の処理量変動に合わせ、必要な量のIT資源を柔軟に効率的に情報システム基盤を実現できるようになりました。

順位	大学名	合格者人数(人)
1	日本大学	273
2	東京理科大学	187
3	早稲田大学	131
4	芝浦工業大学	115
5	工学院大学	102
6	大阪工業大学	96
7	近畿大学	91
8	法政大学	79
9	東海大学	74
9	明治大学	74

古 書 三 題

茅原 健



かや はら けん
茅 原 健
昭和 9 年 10 月 23 日生



学歴・職歴

1934年東京に生まれる。中央大学法学部卒。工学院大学総務部次長、同学校法人評議員、同学園開発本部部長。学園街区共同事業体のエスティック(株)の専務取締役。後、(財)日本私学教育研究所の専任研究員、事務局長、理事を歴任。現在、工学院大学参与(学園125年史編纂担当)。

主な著書

『民本主義の論客 茅原華山伝』、『新しい教育環境と学校施設』、『新宿・大久保文士村界隈』、『工手学校』など。

工手学校を調べるために、かなり古本を探し歩いた。しかし、文学関係と違って工学関係の文献は少なく、関与した人物の伝記などもあまりない。ところが、思わず収穫もあった。工手学校に関与した人物は、当然のことだが工学系の専門家だ。工部大学校を卒業した一流の技術者であり、理論家である。ところが、彼らは専門の学問に加えて、一流の教養人であった。漢詩を作り、和歌を詠んでいる。工学と文芸との領域は、一見、無関係のように思えるのだがそうではない。明治人の教養の深さである。その趣味ともいえる漢詩なり、和歌なりを一冊にまとめたものが残っている。そのいくつかを手に入れた。

『櫻岡遺稿』

中野初子の遺稿集。大正 4 年 2 月 14 日発行。編纂兼発行者 中野良一。和綴じ帙入りの 1 冊。「櫻岡」は、中野の雅号。中野初子は、工手学校創立委員の 1 人だ。工部大学校電気工学科卒業。工部大学校のホールで中央電信局の開局の祝宴が開かれたとき、アーク灯の点灯実験が行われ、ガス灯の光りに慣れていた出席者一同は、電



中野初子

気の明るさに歓声をあげた。この実験は、お雇い外国人であるイギリスの電工学者 W · E エルトンの指導によったものだった。この記念すべき実験の補助役として工部大学学生の中野が手伝っている。この実験が行われた明治 11 年 3 月 25 日が、現在の電気記念日になっている。中野は、工手学校では管理委員、電気工学科教務主任などの役職についている。

『櫻岡遺稿』は、漢詩や漢詩の歴史などをまとめたものだが、そこには工手学校は出てこない。巻頭に「工学博士中野初子先生小伝」というのがあって、そこに以下のように工手学校が出てくる。

今二月ノ初メヨリ風邪ノ犯ス所トナリシガ其六日ニハ工手学校ニ管理委員会アリシヲ以テ先生の職責ヲ重ズルヤ病熱已ニ高キニモ関ラズ勉メテ之ニ臨ミ因テ頓ニ病勢ヲ加フルニ至レリ

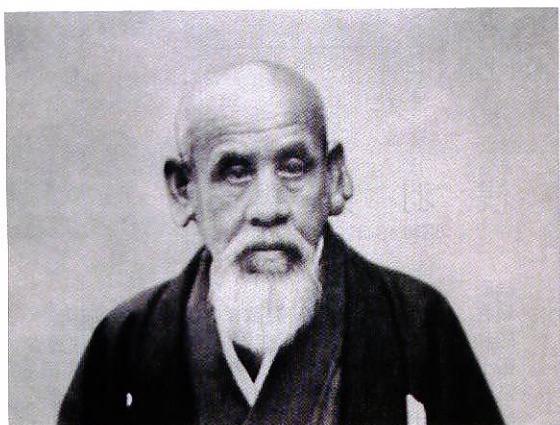


櫻岡遺稿

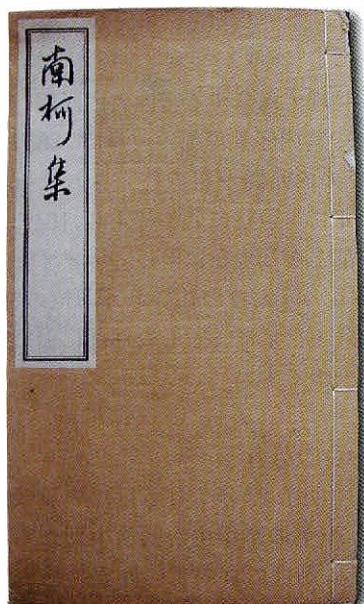
この無理がたたって、10 日後の大正 3 年 2 月 16 日に長逝した。つけ加えるまでもない。中野初子は工手学校とともにあったのである。

『南柯集』

的場中の漢詩集。昭和 13 年 3 月 20 日発行。発行者小田清。袋とじ。「南柯老人」と自称している。的場中は、第五代工手学



的場 中



南柯集

がある。従って、『南柯集』は2冊あることになるわけだが、ここに紹介するのは、純然たる漢詩集の方である。

その漢詩集に、「告工手学校卒業生」と「工手学校新築募集基金」というのがある。そのなかから、卒業生に贈った一首を紹介しよう。

工手学校卒業生に贈る

恭慶なれ得意の場には（恭慶得意場）

僨約なれ成功の境には（僨約成功境）

論を持して他に対する時（持論対他時）

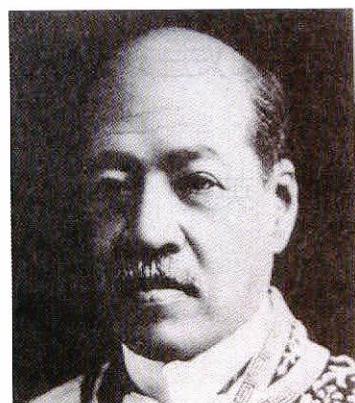
おのれ先ず三度省みるべし（己先三可省）

この箴言的漢詩は、あくまでも工手学校の卒業生に限らんやである。

『蜂聲集』

真野文二は、蝶の蒐集家として知られていたが、和歌を善くした。『蜂聲集』は、真野の詠んだ和歌を集めたもので、

昭和16年5月10



真野文二

日発行。歌人、佐々木信綱の「序」がある和綴じ本。佐々木信綱は、その「序」で、題名の「蜂聲」の由来について、近世の歌人橘曙覧が、「はね鳴らす蜂あたたかに見なさる窓を埋めて咲く薔薇かな」と詠んだものから借りてきたのだろうといい、その歌のうららかさがこの歌集にはあるといっている。

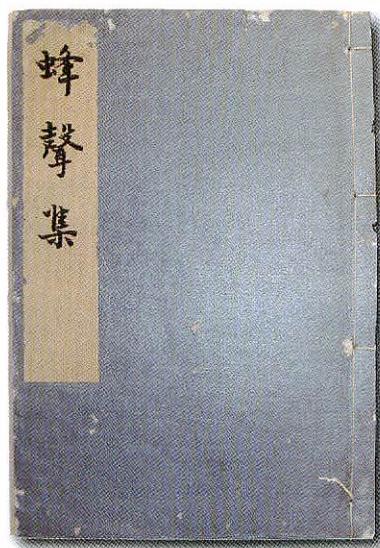
真野は工手学校草創期の機械学科講師として教壇に立ち、第五代管理長に就任している。

真野が詠んだ和歌二首を紹介する。ひとつは「淀橋淨水場の隣地にある工学院創立五十周年の祝に」という詞書きがあるもの。

淀橋のいのちの水をとなりにて花さき栄ゆまなびの庭は

そして、「哀悼」という知人や関係者の死を悼んで呼んだもののなかから、第二代工手学校管理長、「古市公威男の追悼の会にて」の一首を次ぎに。

かけ高き常盤の松の枝をれてこすゑ淋しく月やすむらん



蜂聲集

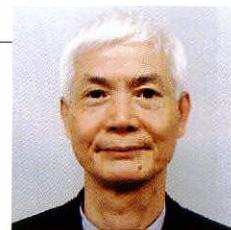
皇室建築と工手学校

皇室建築と工手学校
浅羽 英男

浅羽 英男



あさ ば ひで お
浅 羽 英 男
昭和 18 年 8 月 6 日生



学歴・職歴

現在、工学院大学客員研究员。皇室建築史を研究。
昭和 43 年名城大学第二理工学部建築科卒業、建設省（現国土交通省）中部及び関東地方建設局勤務を経て同 60 年宮内庁管理部に出向、平成 18 年退官。
同 14 年「旧日光田母澤御用邸修復」の実績により日本建築学会賞を共同受賞。

はじめに

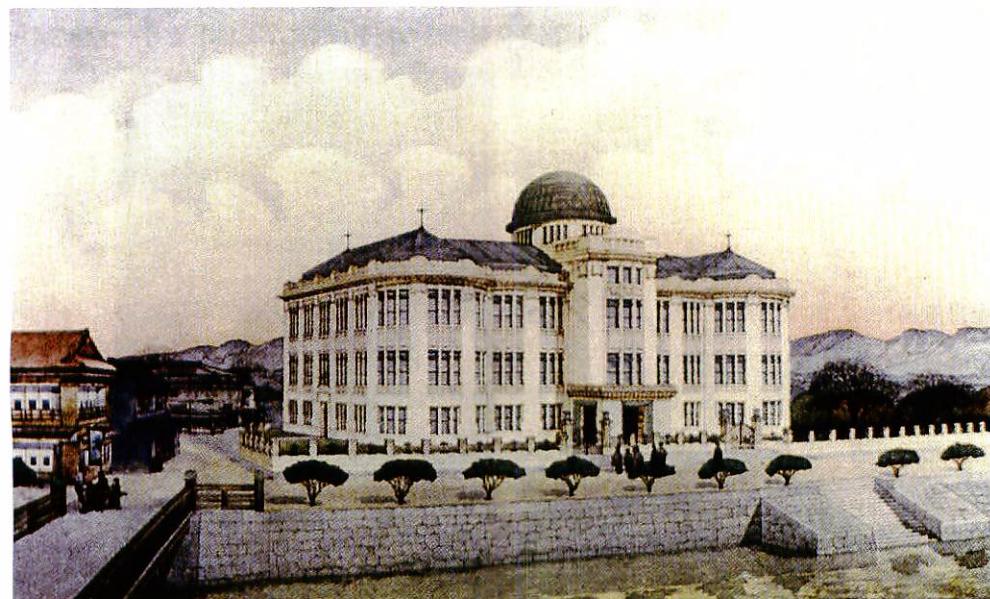
工手学校が 1888（明治 21）年 2 月の創立以来、相当数の卒業生が東宮御所（現迎賓館赤坂離宮）をはじめとした皇室建築の造営に参加し、数多くの作品が現存していますので紹介します。

概説

皇室建築について

皇室建築は、皇室とその関係の建物群の総称で現在では皇居内の天皇皇后両陛下御住いの御所や宮殿をはじめ、赤坂の東宮御所、那須、葉山、須崎の各御用邸、各宮邸、栃木県の御料牧場、新濱及び埼玉の鴨場、宮内庁廈等の多様な建物や京都御所、桂・修学院離宮、正倉院正倉等の歴史的建造物が該当します。

明治期から 1945(昭和 20)年の終戦までは、明治宮殿（戦災で焼失）や東宮御所（現赤坂離宮迎賓館）が代表的で奈良・京都・東京の各国立博物館など近年、国的重要文化財建造物に指定される建物も増えてきています。



広島県物産陳列館（現原爆ドーム） ヤン・レツル事務所・市石英三郎 世界文化遺産
出典：建築世界第八卷第七号 口絵

内匠寮について

皇室建築を造営し管理・保全する宮内省内匠寮（たくみりょう）は、現在の宮内庁管理部の前身で 1885（明治 18）年、それまでの内匠課が組織替えされた部局です。1945（昭和 20）年に主殿寮に名称替えし、1949（同 24）年、同寮が管理部となり現在に至っています。また歴代天皇の御代替りの「大喪の礼」と「即位の礼」の儀式用布設や「御陵・宮墓造営」も管理部に引継がれている重要な業務の一つです。

工手学校と宮内省のつながり

工手学校第 1 回卒（明治 22 年 7 月 7 日）の設楽貞雄をはじめとした延 70 名の卒業生が明治中期から昭和前期（20 年まで）にかけて宮内省内匠寮の技師等として皇室建築の造営に参加し、入省した人数は全国の大学や専門学校の中で一番多い卒業生を数えます。

この期間、明治宮殿と旧東宮御所（現赤坂離宮迎賓館）を頂点に 旧日光田母澤御用邸、上野表慶



片山東熊
写真的出展：建雑第 371 号
大正 6 年 11 月



市石英三郎



京都国立博物館（旧帝国京都博物館）国重要文化財建造物



東京国立博物館本館（旧東京帝室博物館）国重要文化財建造物



迎賓館赤坂離宮（旧東宮御所）2009年国宝指定

館、（いずれも国重文）、朝香宮邸（現東京都庭園美術館）、現宮内庁々舎、学習院昭和寮（現日立自白クラブ）等の多様な作品が今日も数多く現存しています。これらの建物群から工手学校の歴史と皇室建築造営の歴史は、軌を一に歩んできたことが解ります。

皇室建築造営に参加した理由として学校創設以来20年に亘り教官の片山東熊（内匠頭）以下9名の内匠寮技師が積極的に設計・現場監督等に採用したことが上られます。同時に片山東熊は第2回卒の舟橋喜一（奈良帝国博物館で内匠寮雇、東宮御所で嘱託）を自宅に寄宿させ面倒を見ていた等の側面もあります。

また、1896（明治29）年2月9日の学校全焼による再建に皇室から金五百円が賜われたことは、工手学校の存続と発展の意義を皇室が理解していた証といえましょう。

皇室建築に携わった意義

近年、歴史的建造物は「大切に扱う」ことが国民共通の認識として定着してきました。所管替えされ現存している新宿御苑旧洋館御休所（国重文）など皇室建築の多くが保存、利用・活用され町のシンボルとなっています。博物館明治村の飯田喜四郎館長は『皇室建築』で内匠寮技師の‘意識’について「国民が敬愛する皇室のために技術上の奉仕をするという誇りに裏付けられている点が特色といえよう。」と述べています。

工手学校卒業生が担った明治以降の高品質な作品群



東京国立博物館構内・表慶館 国重要文化財建造物

が今日、社会に寄与していることは工学院大学の誇りといえましょう。

主な作品と技師

年次順に主な作品と代表卒業生を紹介します。

- 1894年 帝国奈良博物館 舟橋喜一 第2回卒外2名
- 1895年 帝国京都博物館 設楽貞雄 第1回卒外2名
- 1909年 東宮御所 福田安三郎 第7回卒外8名
- 1909年 上野表慶館 森儀平 第15回卒外1名
- 1910年 埼玉鴨場御食堂 村山兼次郎 第10回卒
- 1915年 明治神宮宝物殿設計競技二等 小林福太郎 第20回卒
- 1929年 赤坂大宮御所 岩崎堅治 第44回卒
- 1933年 朝香宮邸 望月庄五郎 第41回卒外4名
- 1936年 宮内省庁舎 永井賞造 第44回卒外2名
- 1937年 東京帝室博物館 市石英三郎 第46回卒外9名

その他の作品等（宮内省以外）

- 1896年 日本銀行本店 下條慎一郎 第1回卒
- 1902年 三井本館 近藤磯五郎 第1回卒外4名
- 1911年 大阪 初代通天閣 設楽貞雄 第1回卒
- 1915年 広島県物産陳列館（現原爆ドーム）市石英三郎 第46回卒
- 1925年 淀橋工手学校校舎設計競技一等 永井孝直 第58回卒

なお、建築系学科同窓会誌N I C H E 2009 vol 32記載の「皇室建築造営に携わった卒業生と作品一覧」と「皇室建築」（建築画報社 2005年12月22日発行）をご覧いただければ幸いです。

建築と ランドスケープ・ アーキテクチャに 魅力を感じる

戸村 英子

工学院大学卒業後、アメリカでの留学・社会人経験を経て、パリで生活をするようになってから早くも2年以上が経ちました。日本ではまだまだ少数派に属するランドスケープ・アーキテクチャという分野に興味と関心を覚えるようになったのは、工学院大学で建築を学んでいたころだったと思います。その後、ランドスケープ・アーキテクチャの分野に実際に身をおくようになってからも、大学で建築を学んだことは間違なく役に立っていると思います。事実、大学院で一緒に立っていました。間違なく、建築においても、都市デザインにおいても、あるいはランドスケープ・アーキテクチャにおいても同じ思考の原点を分かち合っているように私は思います。

現在関わっているプロジェクトの一つにLOUVRE LENSのプロジェクトがあります。2005年のコンペ開始以来5年弱の歳月を経て、今ようやく現場が始まろうとしています。日本では考えられないようなスローペースで全てが進んでいます。2005年のコンペが開催された時、私はアメリカの大学院にてランドスケープ・アーキテクチャを学び始めた頃でした。大学



とむらえいこ
戸村英子



学歴・職歴

東京都東京農業大学第一高等学校（私立）1997年卒業
工学院大学工学部建築学科都市建築デザインコース
2002年卒業（澤岡研究室）
University of Pennsylvania, Philadelphia, Pennsylvania, USA
Master of Landscape Architecture — Major in Landscape
Architecture, 2005 — 2007
Wallace Roberts & Todd — Philadelphia, Pennsylvania, USA
Landscape Designer 2007
Mosbach Paysagistes — Paris, France
Paysagiste 2007 — 現在

院のスタジオの授業においてLOUVRE LENSのコンペと同じ内容の課題が出されたのですが、このときの担当教授が現在の私のボスであるCatherine Mosbachでした。私が現在の事務所に入ったのが2007年秋、コンペ以来止まっていた設計が動きだしたのもちょうど



WRT-NJ Capital Park PLAN

WRT-NJ Capital Park AERIAL





Mosbach Paysagistes-Jardin Botanique de Bordeaux



Mosbach Paysagistes-Louvre Perspective

Mosbach Paysagistes-Louvre Perspective



Mosbach Paysagistes-Louvre Plan



Mosbach Paysagistes-Jardin Botanique de Bordeaux

Mosbach Paysagistes-Louvre Sections



Mosbach Paysagistes-Louvre Perspective



Mosbach Paysagistes-Quebec Exhibition Garden

どこの頃でした。現在までに、基本設計、実施設計を経験してきました。まもなく現場が始まる予定です。順調にいけば、2012年にオープンする予定となっています。

昔採掘場であったという約20haという広大な敷地にできる全く新しいLOUVRE美術館とそれを囲うオープンスペースの設計が今回のプロジェクトの内容です。パリとは全く異なる性格を持つ都市LENSに全く新しいLOUVRE美術館をつくるというプロジェクトに、建築家、ランドスケープ・アーキテクト、ミュージオロジストがチームを組み、一つの作品を作

り上げていく過程は本当に興味深くすごく魅力を感じています。

現在の事務所でその他に関わったプロジェクトには、フランス・ボルドーのボタニックガーデンやカナダ・ケベックのエキシビションガーデン等があります。また最近ではパリのリパブリック駅前オープンスペースのコンペをやり終えました。

いつの日か、日本においてもっともっとランドスケープ・アーキテクチャの興味、需要が増え、それを担う小さな礎のひとつに私がなっていけば、うれしいことありません。

私の途

溝上技術士事務所代表
溝上 俊治



みぞ うえ とし はる
溝 上 俊治
昭和4年8月10日生



学歴

1950年 山口県旧宇部工業専門学校 現山口大学工学部 卒業
1954年 工学院大学工業化学科II部(山根研究室) 卒業

略歴

1951年 旧徳山曹達(株)「現(株)トクヤマ」入社 研究部配属
東大総合研究所派遣研究員、技術1課等
1966年 薬品部第1課長、無機薬品市場開発班長、
NY駐在事務所長等
1978年 開発部部長、IEM開発部長、ファインケミカル部(FC)等
1986年 理事FC部長、特品事業部副事業部長等
1990年 (株)トクヤマ定年
1989年 周南システム産業(株)、周南ポリマー(有)代表取締
役社長
1995年退任
1996年 総合緑化(株)代表取締役社長 2002年退任
1997年 溝上技術士事務所代表
メールアドレス tk-mizoue@dance.ocn.ne.jp

私は幼少の頃少し器用だったのか祖父から医者を勧められましたが、血を見るのがいやで旧宇部工専(現山口大学工学部)では似た白衣を着る工業化学科に入りました。3年の卒業時には只1人の文部大臣賞を頂く成績でしたが、残念ながら進学には躊躇いました。

学制の改革時で又就職難のS26年4月旧徳山曹達(株)「現(株)トクヤマ」に入社し、その12月から派遣研究員として東大総合研にて永井彰一郎先生の薰陶を頂きました。宇部の卒論はデイアゾカップリングでしたが、今度は石膏・セメントの無機に転向でした。

その間、理化学研究所主任研究員で本学教授の珪酸塩化学の大家であった山根茂先生の面識を得て、本学のII部工業化学科3年に受験し編入学しました。在籍中に応化会の再興を数人の仲間と計画し、先ず主任教授の了解を得、会費徴収の学園委託の条件であった全化学系学生の同意を得るために手分けして草の根運動を行い達成しました。この制度は今日では、校友会及び

各同窓会費の徴収法にもなっています。

東京は5年間で、S31年5月徳山本社薬品課の調査員となりました。課では石膏・珪酸曹達・塩基性炭酸マグネシウム(炭マグ)等を製造していました。石膏は芒硝と塩化カルシウムを反応させ結晶を成長させ濾過する工程ですが、反応槽を一挙に5倍程度に増設することとなり、習ったことも無い化学工学的手法で配管径、反応槽容量、攪拌翼形状を定め機械屋の工務の人達と討論・製作・試運転し所望の粒径の石膏粒子を得て感激したものでした。

一方(炭マグ)は薄い透明な板状結晶で屈折率が天然ゴムの1.523と同じなので高価な輸入天然ゴムの增量剤としてゴムの倍量以上も充填でき、飴ゴム製品を作る貴重な材料として珍重されました。他の先行メーカーは苦汁とソーダ灰を使用する方法でしたが、S24年に再建された当社工場は戦後休止した設備をかき集めたもので軌道に乗せるには相当の苦労があったようです。しかし原料は苦汁とソーダ灰製造の中間品の炭酸アンモニアを使用したため他社よりも低コストであり、乾燥機もロータリーキルンで量産が可能でした。その為いち早く業界の主導的地位を得ることが出来ました。

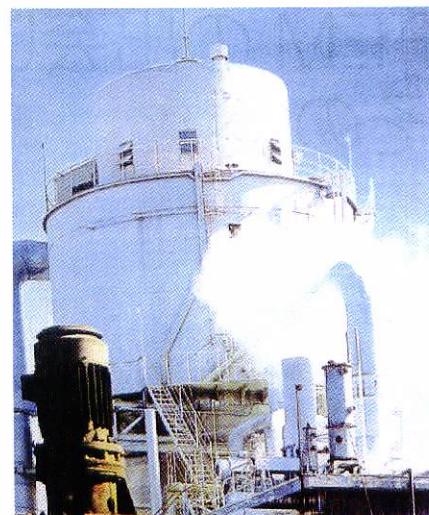
S32年12月特別措置法が制定され国策による日本合成ゴム会社(JSR)が発足しました。当時、黒色の補強充填材カーボンブラックの製造者はいましたが、色白物用の補強充填材製造者は希少でした。JSRの担当者が来社され、米国の白色充填材“HiSil”相当品の国産化を勧められました。天然ゴムに比較すると合成ゴムは強度が弱く色物のゴム製品を作るには輸入品



山口県周南市徳山湾の鳥瞰写真

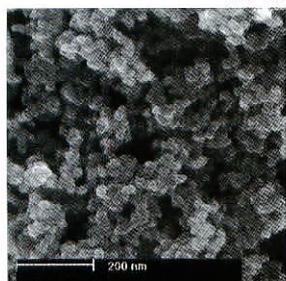


本社工場の一部

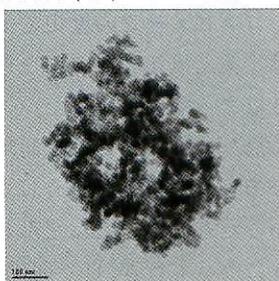


乾燥機の一種

電子顕微鏡写真、(株)トクヤマ製品 トクシール



(写真1、走査型)



(写真2、透過型)



(写真3、透過型)

シリカの電子顕微鏡写真

10～30nmの1次粒子は表面活性が強い為、強固な2次粒子を形成する（写真1）。さらにそれが緩やかに凝集し2次凝集体を作り（写真2）、これ等が更に軽く凝集した形で粉体を形成する（写真3）。従って表面積、吸油量の大きい特性を持つ粉体となり、ゴム以外紙、インク等の多用途に幅広く使用される商品となった。

のハードクレーしかなく、色白物用には必須の充填材でした。純白で又、飴ゴムでも作れる透明性を出せるカーボンブラックのように強度の出る補強充填材が欲しい、つまりカーボンのCと同じ4属の珪素化合物（シリカ）であり後に俗称ホワイトカーボンといわれる商品でした。

シリカの製法には乾式と湿式2法があり、乾式は4塩化珪素と水素を燃焼させるとチャンネルブラックと同様に品質の良いシリカが得られるが、非常なコスト高が欠点でした。湿式は当社の製造する珪酸ソーダを原料として之を酸で分解すれば容易に得られる筈でした。ゴム用の炭マグメーカーでもあり、ゴム混練ロールなど必要試験機器は揃っていました。早速助手1人を貰い実験にかかりました。

しかし、この製造過程でのゾルゲル反応で、粒子はどうしても直ぐ凝集肥大し透明性の出るもののが出来ません。透明性を出す為には少なくも単粒子直径は20nm以下が必要でした。前任の人達もここで悩み別方向に転進しました。湿式にも珪酸ソーダの直接酸分解と珪酸カルシウム経由の副分解法が在り、後法で何回も繰り返した後、ここで常識を全部忘れてやってみようと思いつつ反応倍率を思い切って20倍にしたところ、ブレークスルーが出来ました。

これを端緒に方式も変え、中間実験機を試作し数百回の実験を根気よく繰り返しました。単粒子直径は20nm以下で、適度に凝集し、これ等が濾過・乾燥工程を経た後に、ゴム中に混練されたとき軽く分散し、

光の散乱干渉を起こさないことが補強性にも透明性にも必要でした。最終判定をゴムに混練し、加硫ゴム板にすることに頼ったため膨大な作業となりました。

この技術を基に工場を作り、ユーザー回りもし、事業化を達成しました。現在、世界で5工場がこの技術の先端で稼動し利益を得ています。この成功が私のバックボーンとなりました。

その後NY駐在2年、帰国後開発推進担当になり大きい4つの事業化にも成功しました。60歳定年後、子会社の社長経営3期6年、緑化関連会社3期6年を勤め、中小企業経営の辛酸も無難に経験しました。その間に有能で活力のある退職者の生きがい創設と中小企業及び後進国の援助を目的とした任意団体を有志と共に創りました。現在、NPO法人（山口県アクティビシニア協会）として約百人の会員を擁し、8部会に分かれ、地域社会活性化のために活動しています。私自身は現在相談役ですが、3部会に属し生涯現役の途半ばにあります。

若い皆様方に参考にして頂きたいことは、人は能力・実績だけでなく、意欲・姿勢で評価されることです。又、私なりに大切にしてきたことは次の5項目です。

1. 人との出会いを大切にする。
2. 常に前向きで挑戦する。
3. 常に差別化を思考する（特に新製品・新事業）。
4. 困った時には常識外の発想を試みる。
5. 生涯現役の計画。

FEMの出会いとその後

平野 嘉一



ひら の よし かず
平野 嘉一



学歴

1996年3月 川越東高校普通科卒業
2000年4月 工学院大学工学部第一部機械工学科卒業
2002年4月 工学院大学大学院機械工学専攻卒業

経歴

2002年4月 ソニーエンジニアリング株式会社入社
2006年6月 アークレイ株式会社入社
2008年9月 京セラ株式会社入社

E-mail : yshirano@gf6.so-net.ne.jp

工学院大学大学院を2002年に卒業し早7年。私が有限要素法(FEM)に出会ったのは卒業論文で小久保研究室に配属されてからでした。配属される前まではパソコンも持っていましたが、お世辞にも前向きに授業に出ている生徒ではありませんでした。そんな私が研究室で学んだ有限要素法を使った仕事に就くなどは、当時思ってもいませんでした。

当時(研究室に配属された時代)を思い返すと、インターネットは自宅からダイアルアップで接続していました。そもそもインターネットも何の役に立つか良くなかったりおらず、主にメールと就職活動で企業のホームページを見るくらいにしか使っていなかった人がほとんどであったと思います。パソコンもまだ非力でWindows95が動いており、データはフロッピーディスクで保存していた時代でした。私自身はパソコンも持っておらず、知識も全くありませんでした。

ところが研究室で有限要素法を学び解析を実行するようになると、コンピュータの実行速度とFEMが密接な関係を持っていることを実感します。現在はパソコンコンピュータの処理速度は個人用として使用するには十分で、処理速度の進化を感じることはあまりありませんが、当時は日進月歩で処理速度が進化しており、一つの計算を流すのに一日かかっていたところが、新しいCPUに変えれば一日が半日、OSが変われば半日が4時間になるなど身をもって、コンピュータの物理面とソフト面の違いにより速度が変わることを実感し、その速度の恩恵に与かれることを非常に面白く感じました。コンピュータに少しずつ興味を持ったものの、知識を全く持ていなかった私に、大学の友人は一から教えてくれました。OSとは何か、はたまたCPUとはメモリとは何か、テキストとバイナリの違いまで、全てをこの友人に教わりました。

コンピュータの歴史やその仕組みを知っていくことは授業とは比べものにならないほど面白く、どんどんとはまっていきました。コンピュータがムーアの法則に沿って進化するのと同時に、私たち研究室も大規模なモデルを扱えるようになり、2次元解析しか流せなかつたものが、だんだんと3次元のモデルを扱えるようになって行き、日々進化して行きました。コンピュータの進化と自分自身の知識を得ることが同時に起こって行く、そんな非常にエキサイティングな経験でした。

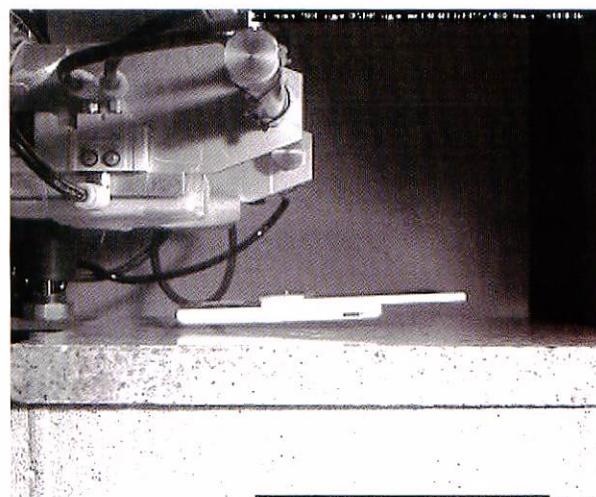
また今ではもうありえないことだと思いますが、ひょんな事から所属研究室とCAD室のたくさんのコンピュータを同時に管理させていただけることになりました。ドメインなどを使用した合理的な管理の仕方、インストール作業の簡略化など半ば独断で様々なことを試すことが出来る環境が必然的に在り、普通のユーザーとは違う管理者の立場まで実践的に学ばせて頂くことが出来、少し前までは全くの初心者だった私が管理者にまでなるまで成長させて頂きました。学生に管理までを自由に試す環境を作っていた小久保先生には、心から感謝しております。全ては工学院大学



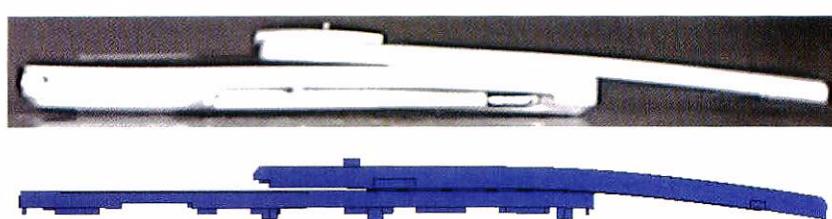
会社風景(横浜営業所) 高台にあるので富士山から日産スタジアムまで見晴らせます



SA001 世界最薄ワンセグスライドとしてなかなか好評のようです



落下実験中の一コマ 高速度カメラでの映像



落下試験時の反りについて解析と実験の比較 *おおよそ一致しています

の友人や知識豊富な周りの学生達、また先生方が教えてくれたからこそです。

そして現在、私は京セラ株式会社に入社し携帯電話の構造解析などを行う仕事をしています。携帯電話はますます高機能になっていますが、一方そのサイズは小型化・薄型化が進んでいます。その小型化・薄型化が進む中でも必要な剛性を確保する必要があります。携帯電話は様々な規格を満たす必要があり、それはキャリア様からの要求であったり、自社の信頼性規格であったりしますが、誤ってユーザーが携帯電話を落としてしまった場合や、高温高湿の環境下に置かれた場合など様々な場面を想定し信頼性試験を行っています。

それらの想定を模した試験は小型・薄型であるほどその試験の基準を満たすことが難しくなっていきます。そんな場合に役に立つのがFEM解析です。どんな解析を行っているかは詳しくは申し上げられませんが、FEMを使用することにより例えば事前にこの部分の剛性がどのくらい足りないと定量的に把握し、対策を練ることが出来るようになります。そしてFEMを使用する前まで行われていたKKD(勘・経験・度胸)に頼った設計ではどうしても金型変更や信頼性試験で不具合が多数発生していましたが、FEMで事前に予測することで減らすことが出来ています。このようにして生まれた携帯電話の最新モデルがK002SA001です。もちろんもっと以前よりFEMを携帯電話の開発

に適用し、小型、薄型防水端末など難易度の高い製品をユーザーの皆様に販売し、信頼を頂けております。

業務の中で難しいと感じることは、やはり解析の結果をそのまま信じて良いかということでしょう。解析を行うと良くも悪くもそれなりに結果が出てしまいます。解析結果にきれいなコンター図と変形が表示されても、それが本当に現実の試験結果と合っているかは別の問題です。モデルへの条件設定の単純なミスがあったり、そもそも現実と解析が一致するかは、実験なりをして何かしら確かめる必要があります。もちろん手計算などの確認も必要です。現在の携帯電話の開発は超短期開発であり、大幅な変更を開発途中で入れる余裕はありません。そのため実際の試作品が上がってくるまでは自分の出した結果が本当に合っているかは心配でたまりません。逆に解析結果と実際の試験結果がほとんど同じ結果になったとき程うれしいことはありませんし、現実を予測できることの面白さを強く感じます。

大学でたまたま出会ったコンピュータとFEMというものが自分の人生にここまで大きな影響を与え、仕事として日々使用するなどとは想像もしておりませんでした。

この文章を読んだ大学生の皆さん、これから大学生になる皆さん。何か夢になれるを探してください。それは思いがけない形で自分自身に大きくプラスになって返ってくることがあります。私のように。

構造設計から学んだこと

細川 洋治



ほそ かわ よう じ
細 川 洋 治
昭和 16 年 11 月 15 日生



学歴・職歴

1960年3月富城県工業高等学校化学工業科卒業
1964年9月工学院大学専修学校第144回建築科卒業
1965年6月(株)山紀設計入社
1974年7月東京大学工学部助手
1992年博士(工学)「あと施工アンカーの強度の剛性に関する基礎的研究」
1993年4月前田建設工業(株)入社 現在最高技術顧問
2001年12月サンコーテクノ(株)入社 現在最高技術顧問
現在(社)日本建築あと施工アンカー協会副会長

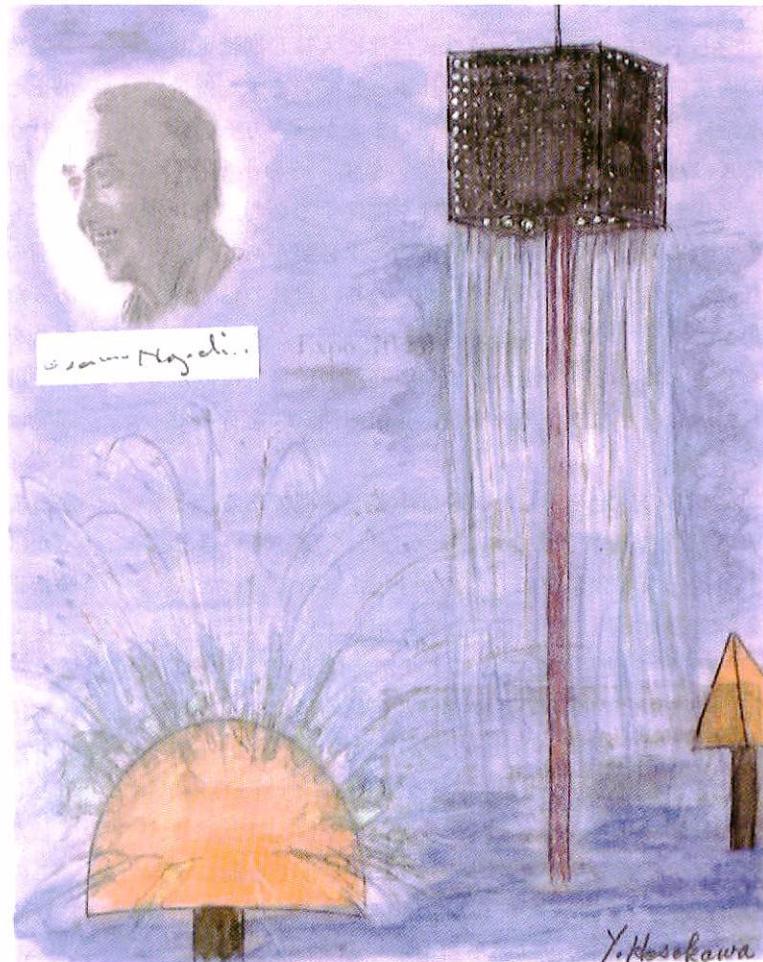
主な作品:大阪万国博覧会動く歩道・各広場構造設計、福岡相互銀行本店構造設計、代官山集合住居構造設計、釧路市立博物館構造基本設計
構造設計一級建築士・建築構造士
E-mail : yh2415hosokawa@sanko-techno.co.jp

昭和39年9月に専修学校を卒業して、建売会社、構造設計事務所、大学助手、建設会社、そして現在勤めている耐震補強用特殊ねじ製造会社と5か所職場を変えました。最初の建売会社で構造設計の重要性・責任性・公共性を思い知らされて以来、構造関係で身を立て皆さんのお世話になって今まで無事過ごしております。

これまで数多くの建築家の方々と出会い、建築家の皆さん的情熱に接し、構造設計が単なる構造計算ではなく、デザインするところの意味を理解し、建物を利用する人の安全・安心について自分の力量を發揮するために、常に研鑽を怠らず、地震などの自然現象への最大限の配慮を行うことの重要性を学びました。その中で特に、磯崎氏との出会いでは福岡相互銀行本店の設計で、耐震設計の考え方について、「構造計算と構造設計の違い」を、十分に説明できなかったことに対して、31歳の時に今でいうフリーターとなりアルバイトをしながら勉強先を探し、生活とポテンシャルを上げたいという探求心の両立の中で悩む時代がありました。家族の協力で無事この両立を果たし、さらに余りある境遇にめぐり合い、「念ずれば花開く」を信じ、出会った全ての方々への感謝の気持ちで一杯です。

設計事務所を退職してから半年が経過した頃に、東京大学から研究助手の公募があ

り、応募資格が「大学院修士課程修了以上」とことで諦めかけていたときに、当時の教授梅村魁先生から「一級建築士を持っていること、設計経験・内容を審査して十分資格はあると考えられる」との推薦で助手として採用いただきました。専修学校を卒業させていただき、どうにか構造関係で世の中の役に立つ人間に



イサム・ノグチ氏デザインの巨大な「水柱」のスケッチ（細川洋治）

なれることで、卒業当時構造の単位が足りず、先生方を悩ませたご恩に報いることと、専修学校の誇りに賭けて頑張る覚悟を決めました。その後約20年間勤務し、工学博士の学位を取得することができました。

設計事務所時代に、忘れることができない思い出として、スケッチに描いた大阪万博の噴水の設計があります。万博会場のメインである太陽の塔がある大屋根の周りにあった「夢の池」に、彫刻家イサムノグチ氏がデザインした噴水の集合体の計画があった。その中でひと際目立つ存在だったのが、このスケッチに描いた高さ33メートルの上から滝のように流れ落ちる、これまでの噴水のイメージを変えた巨大な「水柱」です。現在は万博記念公園の中で静かにモニュメントとしてその雄姿を残しています。彫刻家との出会いは初めてでしたが、設計時の最終チェックをすると暴風雨時に1.5メートルの変形が出ることが分かり、1メートル以内に収め、安全策を講じたいと主催者側に申し入れましたが、既に支柱（直径90センチの鋼管）は発注され製造開始されていたので、設計変更はできず、高さを低くする案を出すが受け入れられず、途方に暮れてしまいました。あまり知識もなく悩む中で風を受ける面積を減らすことを思いつき、文献を調査した結

果、穴の大きさをある比率にすると風圧が小さくなることが分かり、穴を開ける案を提案しました。原案は表面には穴などではなく、プレーンな面がダイナミックスさを表現するということで、手を付けることが許されなかったのですが、直接ご本人に説明することになり、当時は恐る恐る提案して、どう切り出すか、どう責任をとるかで頭の中は真っ白でした。

イサムノグチ氏は、私の説明が終わると、先ず「台風時に大きく揺れて、もし池の中にキューブが入り、数回揺れてからまた地上に出ることができれば、これも立派な芸術です。面白い」ということで、変更はまかりならないということでした。しかし、開会中の入場者の数を考え、「事故は絶対許されないこと、たとえ芸術でも安全を優先するのが大切ではないか」と、全身で訴えました。最後にイサムノグチ氏は、「模型を作って穴を開けた時のイメージが全体計画の中で許せるかを確認してから決めましょう」ということで、アルミダイカスト製作日程ぎりぎりで承認され、7メートル立法体の「有孔体アルミダイキャストのキューブ」が生まれました。写真は10年前に家内と訪れた時に撮影したものです。



万博記念公園の噴水の様子

カッコいい大人を目指して

田中 和紀



たなかかずき
田中和紀

学歴
2004年 東京都立 武藏(定時制)高等学校 卒業
2008年 工学院大学 工学部第2部 電気電子情報工学科
情報工学コース 卒業
2010年 工学院大学大学院 工学研究科 情報学専攻 音情報処理研究室 修了

経歴
2000年～2006年 株式会社いなげや鮮魚部 アルバイト
2006年～2009年 株式会社ミクシィ インターン(アルバイト)
2009年 未踏IT人材発掘・育成事業(未踏ユース)に採択

E-mail : c304521@gmail.com

若い人たちに夢を与える

私は「若い人たちに夢を与えられる仕事をしたい」と思っています。高校時代に「米国にはGoogle、Appleのような若者が夢を抱けるIT企業があるのに、日本には無い。だから日本から世界に誇れるIT企業を創る」という夢を持ちました。大学に入学し、思ったことは明確に目標があって大学に進んだ人が少ないということでした。早いうちに目標が見つかれば、もっと若い時間を有効に使えるのに「もったいない」と思っています。

ミクシィでのインターンと大学院

学部3年の頃、大学の論理的な勉強だけではなく実践を学びたいと思い、株式会社ミクシィにインターン入社しました。ミクシィでは、学部3年から修士2年にかけて3年6ヶ月間働いていました。インターンを始めた頃は会社が上場前で小規模だったのですが、上場を前後して急成長し、成長期の会社の風土や組織作りを知ることができました。インターンを通して社会人や新卒の人など大学だけでは出会うことのできない人たちと知り合うことができました。

インターンと同時に大学院へ進学し、管村昇先生（音情報処理）のもとで音声認識を研究していました。管村先生はNTT研究所からきた教授で、社会で技術がどのように使われているかを実践的に教えてください、研究室配属時には「音に興味があるわけではなく、管村先生にすごく興味があり管村研を志望しました」

と伝えました。

未踏ユースに採択

修士2年の前期に、「思いが伝わる情報デザインツールの開発」という内容でIPAが行っている2009年度上期未踏IT人材発掘・育成事業（未踏ユース）に採択されました。プロジェクトには、私を含めて3人で応募し、一人は多摩美術大学、もう一人は早稲田大学大学院という異なる大学の仲間とともにプロジェクトを進めています。

プロジェクト内容は、デザイナーが暗黙のうちにしている情報デザインのノウハウを体系化しプログラマ化することによって、専門知識が無いユーザーでも自分のブログや写真データを持ってくるだけで、雑誌のような情報デザインされた形でWebマガジンを発



チームメンバー

左から片山、田中、大田

1.情報収集	2.情報整理	3.情報設計	4.情報視覚化
ユーザのblogや写真を自動で集める。	集めた素材が色、時間、キーワードなどで自動整理される。	ユーザが情報の重要度や順番をユーザが付ける。この過程は楽しくできるようにする。	1~3で得たパラメータをもとに、システムがレイアウトを自動で行いWebマガジン発行する。



システムの流れ



行できるシステムの開発です。

情報デザインとは、「情報という形のないモノを人が認知理解しやすいようにデザインすること」です。情報を伝えるためには次のことを意識する必要があります。

- 1.何を、誰に、どう、伝えるのかを明確にする。
- 2.「発表する」ではなく「伝える」ことを意識する。

この二つを意識し、ビジュアルとして表現する方法を知っているのがデザイナーです。私たちは、デザイナーが暗黙のうちにに行っている情報デザインの過程を4つにわけ、システムを開発しています。

この4つの過程をユーザが楽しみつつ行うと、デザイナーの情報デザイン過程と同じ事をいつの間にか伝えるシステムが「思いが伝わる情報デザインツール」です。

このシステムは、blogのように日常的に使うモノではなく、「みんなで行った旅行を一つのWebマガジンにまとめて友達に伝えるときに使う」、「日々書いているカフェ巡りの日記を整理しまとめ、カフェ巡りマガジンを発行する」といった利用を想定しています。

大人たちの仕事は、若い人たちに夢を与えること

ITの世界は実力と発想次第で世界を変えられる事ができます。若い人たちが活躍できる土壌があります。日本に、若い人たちに夢を与える会社(社会)が「無かったら自分たちで創ればいい」というエンジニア魂があり、将来は起業したいと思っています。

今振り返ると、魚屋でのアルバイト6年間、定時制高校、夜間大学、インターンなどを経験てきて、私は普通の学生よりも多くの大人たちに出会い、支えられてきました。若い人たちに夢を与えるために、自分の道をしっかりと歩んでいこうと思います。

黒をきわめる

白鳥 熊

(銅版画作家)



しらとり
白鳥 熊

昭和15年7月29日生



学歴・職歴

工学院大学附属高等学校 建設科 1959年卒業
国画会版画部事務局長、会務委員、国画会会員、
日本美術家連盟会員

色の言葉は借りたくない。 黒をきわめる。

自由に表現できる道を選びたいと考えた。

版画には、同版・木版・シルク・リトグラフ・CG等々あるが、食べ物にたとえれば、銅版は江戸前寿司、リトグラフはファミリーレストランの食事…と思う。

『明暗の段階をととのえながら画面を作りあげて行く、やっとの思いで出来上がった版を見て、物足りないあまりカッターでバラバラにする。でも今度はバラバラになった銅版がいとおしくなり、何とかならないかと継ぎ合わせ始める。少しはましな画面が作れないだろうかと！……。結局いつでも自分の物足りな

きだけが目に付いてしまう。

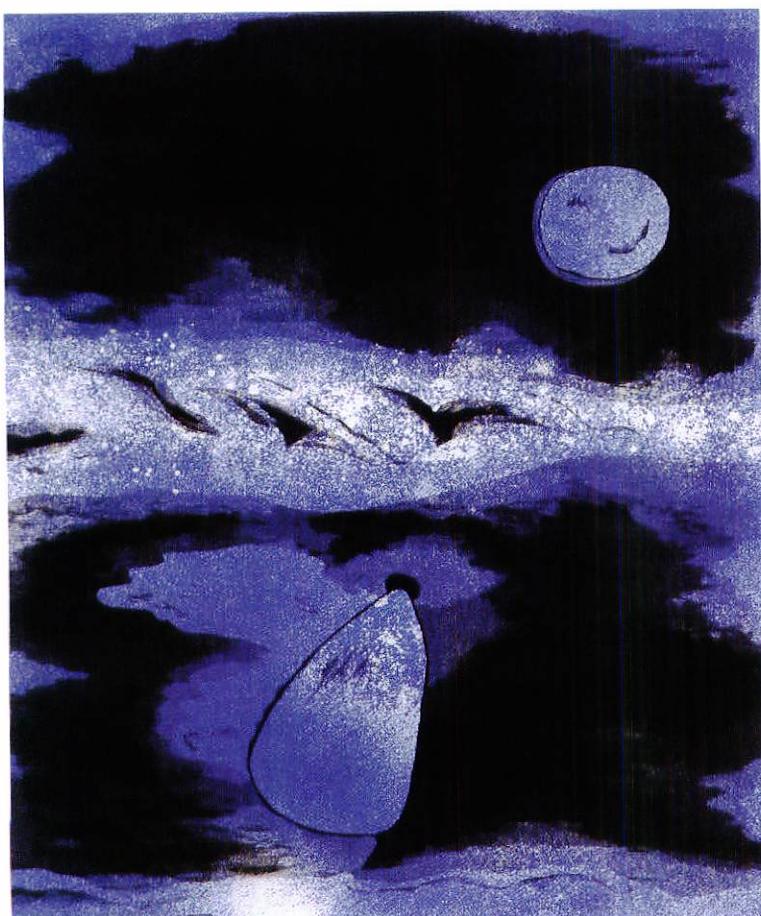
技術重視、出来上がりのきれいさは、版画の長所であると同時に欠点でもあると思う。技術の限界を無理やり拡大し自己の領域が広がったと錯覚するような仕事をしないよう心がけ、自分をこんなに虜にする版画なのだから、もっともっと自由にやってこの世界（全ての色彩を含有し、それを漆黒闇夜のように覆い隠してしまう黒）を極めたいものです。』（作家談）

現在、美術家としてご活躍中の白鳥熊さんから作品をお借りいたしました。

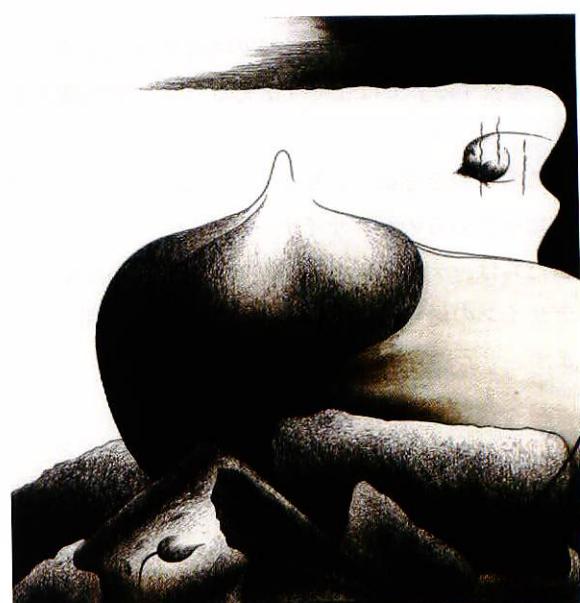
編集部にてポジフィルムをスキャニングして再現いたしました関係で、実際の作品とは違った印象になつておりますことをご了承願います。

以下に美術評論家の作品評を転載いたします。

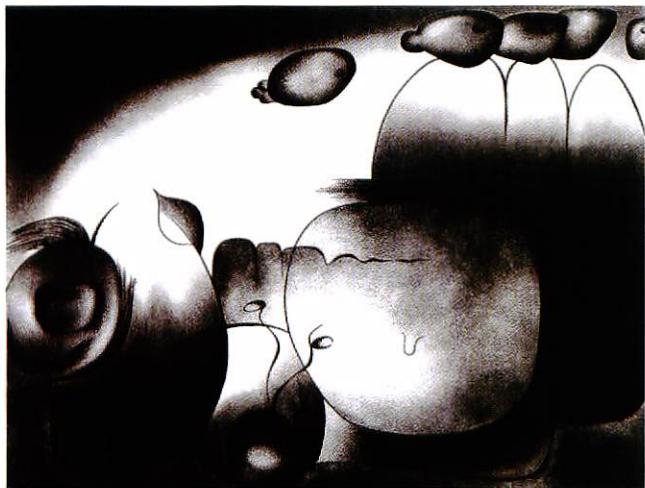
『白鳥の想念の力と内面への凝視が、主調低音をして流れているような画面である。そこには神秘もある。夥しいデッサンの中から生まれてくるフォルムで



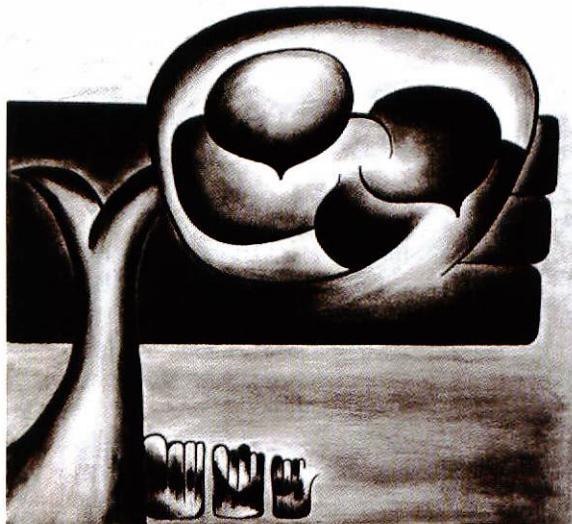
愁 (青)



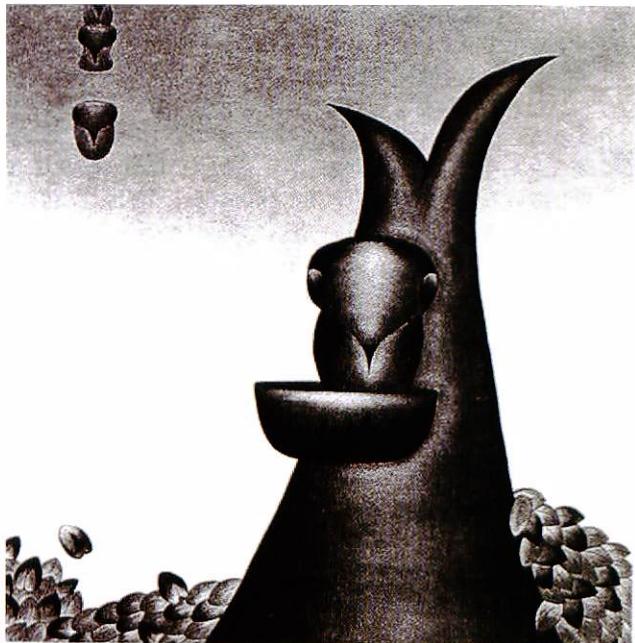
降臨



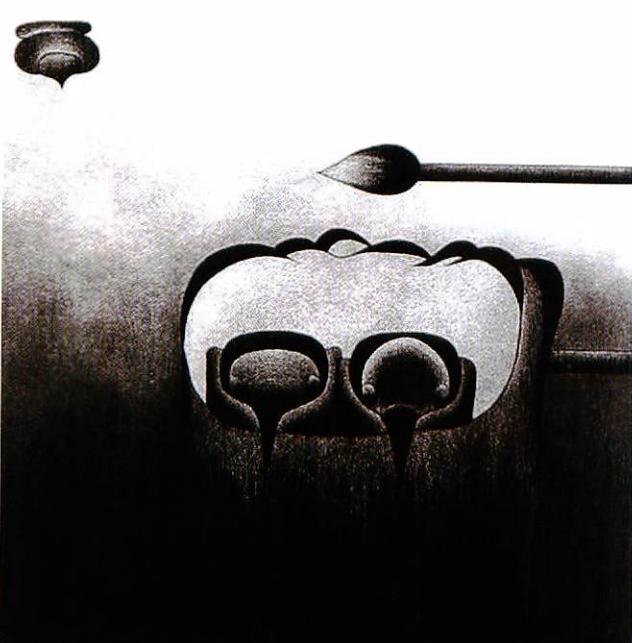
一念化生



他生の縁



永遠



あろう。好きな音楽の演奏を聴いた時の感動がゆるやかに自分の中に余韻として入ってくる感覺に似ている。

音楽で言えばノクターンのピアノ曲を聴いているような趣きである。神聖な山の光景を、黒と白、茶といった限られた色彩で、空間を大切にしながら、丁寧に作り上げたかのように見える。雲や風、岩、植物などの自然と一体化したかのような独特のフォルムと、デリケートに引かれた線のトーン、そして構成力からも、しっかりととした手応えを感じ、いつしか鑑賞者を深淵の世界へと誘うようである。(小森佳代子)』

作品収蔵・マイダネスク国立美術館、ロッズ市立美術館(ボーランド)、カンピナス現代美術館(ブラジル)、テッサロニキ美術館(ギリシャ)、ブタベスト美術館(ハンガリー)、オーバン大学現代美術館(U·S·A)、韓国文化芸術協会(韓国)、ウエストパック美術館(オーストラリア)、ウエリントン国立美術館(ニュージーランド)、他収蔵多数。

画歴・国展(国画賞・60回記念展賞・会友優作賞・前田賞・野島賞)受賞。文化庁現代美術館選抜展、国際日本版画展(イタリア、デンマーク等15ヶ国巡回)、日本現代版画U.S.A巡回展。版画GP展、リュブリアナ国際版画展、サンパウロ国際版画展、ローマ国際版画展、リュブリン国際反戦芸術展、中華民国国際版画展、オーバン国際紙の芸術展、ARTofTODAYブタベスト国際展、ロッズ国際版画展、イビザ国際版画展、フレヘン国際版画展、ヴァルナ国際版画展、テッサロニキ国際版画展、アジア国際芸術招待展'90(以後毎年招待出品)、他国際展多数出品。養清堂画廊、他画廊企画展グループ展多数。

社会人キャリア力育成アセスメントを実施して

工学院大学 電気システム工学科 教授 横山 修一（工学博士）

昭和43年 電気工学科卒 45年 大学院 電気工学専攻修了

日本インターンシップ推進協会 会長、

首都圏産業活性化協会 理事（人材育成担当）、

TAMA-TLO（株）取締役（技術評価担当）



社会人キャリア力育成アセスメント委員会委員長 首都圏産業活性化協会 理事（人材育成担当）、
TAMA-TLO（株）取締役（技術評価担当）

過去（進学率10～20%）において大学は、学問の府としてその権威を誇り、社会からは、絶大なる信用が有り教育機関として社会の要請に応えてきた。現在は、希望すればどこかの大学へ進学できる時代であり、過去における大学像で教育しようとしても教育できない状態にある。このような時代背景を考慮して教育するとなると、教育方法も教育課程も変える必要がある。過去における教養教育・専門教育を現状に持ち込んでも教育効果が上がらないことに気付く必要があった。ましてや入学試験を受験することなく推薦入試で入学者の50%以上が入学してくる時代であることを忘れてはならない。本学は、このような時代背景があろうともできるだけ良い人材が入学できるよう、先輩方のご支援によりその仕組みを作ったところである。

全入時代の学生をいかにして教育効果を上げて卒業時に進路選択ができるようにするかは、学生の自己責任だけでなく大学の教育課程にその責任の一端があると考えられている。このような時代背景から大学の教育課程にキャリア教育（ガイダンス、職業指導）を実施することが強く求められている現状である。

大学は、学生の主体性、コミュニケーション能力、ストレスコントロール、積極性、計画力等を育成する教育をカリキュラムに取り入れている。このような教育は、キャリア教育と呼ばれている。キャリア教育は、主役である学生一人ひとりの異なる生き方（チームワークの必要性）について学生自らが考え（シンキング）、行動する原点を見つけ、自信をもって社会に一步を踏み出す（アクション）準備のためのものであり、個人の人格形成に重要な影響を及ぼす教育である。

日本インターンシップ推進協会（以後、JIPCと記載）は、2007年3月経済産業省に調査委託「インターンシップにおける社会人基礎力の実践的活用に関する調査」の報告書を提出し、社会人基礎力の評価方法を提案した。キャリア教育の一種類であるインターンシップによる教育的効果については、大学・学生・企業それぞれに対し良い結果が得られている。学生に対する効果は、(1)現実社会の理解度が深まる。(2)既得知識の修正と新たな知識の修得ができる、(3)職業選択などの自己の生き方の確認あるいは修正が可能となる。また受け入れ先企業に対する効果は、(1)

大学との連携を強化できる、(2)企業PRの機会が広がる、(3)学生からのアイディアを取り入れた商品開発、(4)社会的責任を果たすことができる。また大学に対する効果は、(1)カリキュラムの質的向上、(2)学業成績の向上、(3)就職状況の改善、(4)学生の学習意欲の向上。しかし、JIPCの調査の過程で、大学生の社会常識（読み・書き・計算・マナー・常識）が問題点として浮上した。これまでの調査報告書を基に、社会常識も同時に評価できる手法をJIPCで開発し、社会人キャリア力育成アセスメントとして産経新聞社の後援を得て実施している。現在5000名以上の大学生が受験しており、受験生の9割以上からこのアセスメントは今後自分自身の成長に役立つと答えている。

実施事例（アセスメント結果）の評価シートを図1に示す。特に、図1は学生個人のカルテとしてその履歴を保存し、過去から現在までの個人の状態変化を捉えることができる。これは、成績表とは異なったものであり、まさに経験（キャリア）を積んだことによる個人の特性の変化を表現しているものと考えられる。評価シートを活用する際の課題を強調しておきたい。①就職するにあたって学生が考慮する優先順位は、a. 職、b. 業界、c. 会社の順であるので、どのような職に就きたいかを見出すために、ベースとなる本アセスメントの活用が望まれる。②学生が自分の評価が低く出ても反省材料として受け止め気付きを深める機会となれば、自己成長を促すことができるので就職のミスマッチを防げる。③インターンシップの評価書はレーダーチャート付きにしたら分かりやすので、可視化しておくことが望まれる。④個人のカルテとして活用ができ、成績とは別の切り口が見えるので人材育成の道具として活用できる。

最後に、キャリア教育の内、インターンシップ（本学は約200名が受講）の導入の経緯は、離職率（フリーター、ニートの増加）の低減化が強く求められたためであったと考えられている。現在、大学卒業後3年後の離職率は35.9%となっており、より一層キャリア教育を充実する必要性が伺える。キャリア教育は、図2に示されているように、従来の教育プログラムに並列的に実施することが求められていると考えられる。

最後に、大学・学生・企業が共有化された評価基準で評価できるようにし、人材育成に役立つシステムとして機能するように努力したいと考えている。皆様方からのご支援、ご協力ををお願いする次第である。

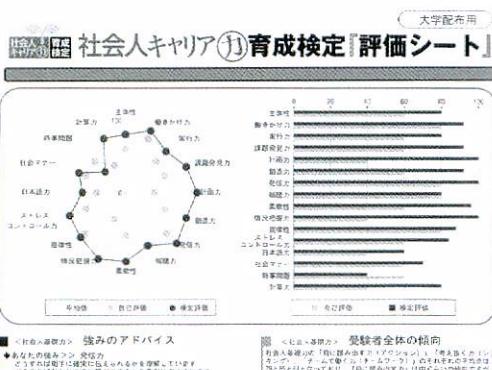


図1 アセスメントの評価シート

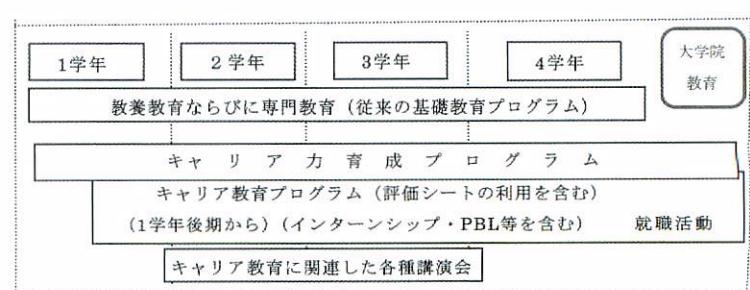


図2 キャリア教育の位置付け

「修習技術者（JABEE 認定コース修了者）と技術士」について

T A K E 国際技術士研究所 代表 黒澤 兵夫

(技術士 総合技術監理・情報工学)

(S 40 卒電気工学電子コース)



日本技術者教育認定制度に基き、大学などの高等教育機関で実施している日本技術者教育認定機構（JABEE）認定プログラムを終了した者「修習技術者」は、文部科学大臣の指定を受けて技術士の第一次試験が免除される。

また、技術士は、文部科学省が所管する優れた技術者の育成を図るための国による技術者の国家資格である。技術士は、技術士法に基づいて行われる国家試験（技術士第二次試験）に合格し、登録した人だけに与えられる名称独占の資格である。即ち、技術士は、「科学技術に関する技術的専門知識と高度な応用能力及び豊富な実務経験を有し、公益を確保するため高い技術者倫理を備えていること」を国によって認められた技術者であり、科学技術の応用面に携わる技術者にとって最も権威のある国家資格である。

國からも、科学技術創造立國の政策を推進する上から、多くの JABEE 認定プログラム修了者／修習技術者が技術士を目指すことを期待されている。平成 13 年度よりの JABEE 認定者／修習技術者数の推移を図 1 に示す。

また、JABEE 認定者／修習技術者数の推移と技術士受験申込者及び合格者の人数を表 1 に示す。技術士資格取得までの仕組みを図 2 に示す。

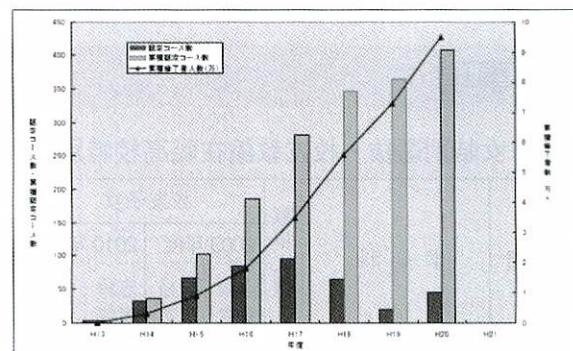


図 1 JABEE 認定者／修習技術者数の推移

表 JABEE 認定者／修習技術者数の推移と技術士受験申込者及び合格者の人数

年度	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
認定コース数	3	32	67	84	95	65	19	44	
累積認定コース数	3	35	102	186	281	346	365	409	
累積修了者人數(万)	-	0.3	0.9	1.8	3.5	5.6	7.3	9.5	
受験申込者人數	-	-	-	-	-	1	28	80	200
合格者数	-	-	-	-	-	0	0	1	(14) [*]

注※) 筆記試験合格者 (14) 名

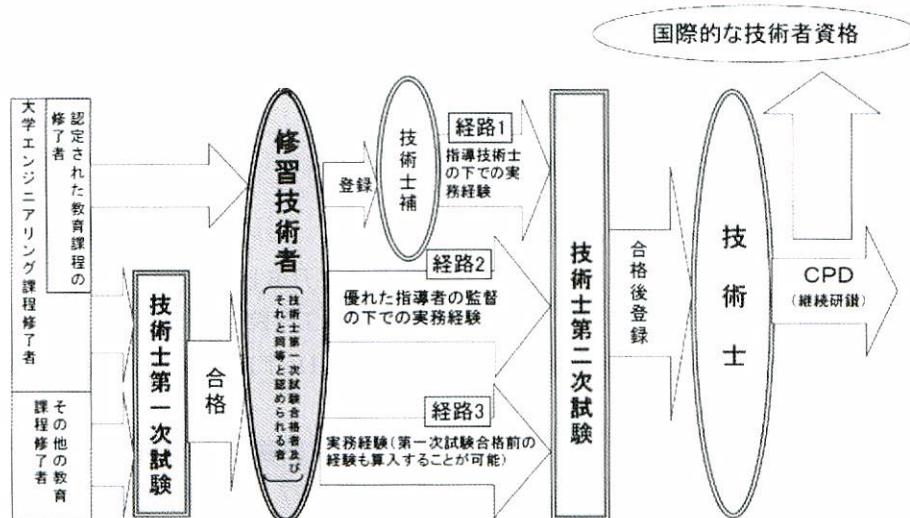


図 2 技術士資格取得までの仕組み

経路 1 技術士補に登録され、補助する技術士の下で 4 年（総合技術監理部門を受験する場合は 7 年）を超える期間の実務経験を積む

経路 2 優れた指導技術者の下で 4 年（総合技術監理部門を受験する場合は 7 年）を超える期間の実務経験を積む

経路 3 7 年を超える期間（総合技術監理部門を受験する場合は 10 年）の独自の実務経験を積む

工学院大学 校友子女特別選抜入学試験を実施します！

工学院大学では入学を希望される校友の皆様の子女を対象にした特別選抜試験を2008年度から実施しています。

工学院大学校友会では、校友の皆さまの技術者への志、120年を超えて技術者を育成してきた学園の建学の精神が、この選抜試験により次の世代にまで継承されることを大いに期待しております。

概要、過年度の入試結果は次のとおりですが、詳細につきましては必ず工学院大学アドミッションセンター入学課発行の募集要項（9月上旬から配付、無料）をご確認ください。

出願資格

次の要件をすべて満たしている方

- ①高等学校もしくは中等教育学校後期課程を卒業した方および2011年3月卒業見込みの方、又は高等学校を卒業した方と同等以上の学力があると認められた方。
- ②本学園（大学・大学院・高等学校・中学校・専門学校およびこれらの前身の学校を含む）卒業生・修了生の子、孫、甥、姪。
- ③高等学校もしくは中等教育学校後期課程の全体の評定平均値が3.2以上の方。

共通事項

校友子女特別選抜・校友教諭在職高校特別推薦入試結果

学部	学科	募集人数	校友子女		校友教諭在職高校	
			2009年度	2010年度	2009年度	2010年度
工学部 第1部	機械工学科	若干名	0	0	1	1
	機械システム工学科		2	2	0	0
	応用化学科		0	0	2	2
	環境エネルギー化学科		0	0	0	0
	電気システム工学科		3	3	1	1
	情報通信工学科		0	0	0	0
	建築学科		2	2	0	0
	建築都市デザイン学科				1	1
工学部 第2部	情報通信工学科				0	0
	建築学科				0	0
情報学部	コンピュータ科学科		1	1	3	1
	情報デザイン学科		5	5	4	3
グローバルエンジニアリング学部	機械創造工学科		1	1	0	0

*注) 応用化学科、環境化学工学科、マテリアル科学科は2009年度から応用化学科、環境エネルギー化学科に再編されました。

建築学科と建築都市デザイン学科は、2009年度は建築系学科として募集し、2010年度は学科ごとに募集しました。

校友教諭在職高校特別推薦は、工学部第2部でも実施しています。

募集学部・学科・人数

学部	学科	募集人数
工学部 第1部	機械工学科	若干名
	機械システム工学科	
	応用化学科	
	環境エネルギー化学科	
	電気システム工学科	
	情報通信工学科	
	まちづくり学科	
	建築学科	
建築学部	建築デザイン学科	
	コンピュータ科学科	
	情報デザイン学科	
	グローバルエンジニアリング学部	
情報学部	機械創造工学科	
	情報通信メディア工学科	
工学部 第2部	建築学科	

注) 工学部第1部建築学科・建築都市デザイン学科は、2011年4月に建築学部として生まれ変わります。 詳細は、大学案内や建築学部パンフレット等でご確認ください。(申請中)

選考方法

書類審査、面接、基礎学力調査（数学、英語）

注) 工学部第2部は、校友教諭在職高校特別推薦のみ実施。

選考日：11月6日（土）

選考場所：工学院大学新宿キャンパス

合格発表：11月13日（土）郵送で通知します。

試験日程

出願期間：【郵送】10月15日（金）～10月28日（木）

消印有効

【窓口※】10月15日（金）～10月29日（金）

※新宿キャンパス2階 入学SUPPORT CENTERで受け付けます。

問合せ・試験要項請求先

〒163-8677 東京都新宿区西新宿1-24-2

工学院大学 アドミッションセンター入学課

TEL：03-3340-0130 FAX：03-3342-5304

ホームページ：<http://www.kogakuin.ac.jp>

工学院大学を卒業または修了された高校教諭の皆様へ

工学院大学 校友教諭在職高校特別推薦入学試験を実施します！

工学院大学では、2009年度入試から校友教諭在職高校特別推薦入学試験を実施しています。これは、工学院大学を卒業または修了された校友が教諭として勤められている高等学校に、これまでの指定校推薦などとは別に推薦枠を設ける特別推薦入試です。

工学院大学校友会では、校友の皆様を通じたこの推薦試験により、学園の建学の精神に共感した意欲あふれる生徒の皆さんのが入学されることを大いに期待しております。

本試験の概要は次のとおりですが、ご関心のある校友の先生は是非とも工学院大学アドミッションセンター入学課までご連絡ください。

推薦対象高校

工学院大学を卒業または修了後、5年以上経過した方が本特別推薦入試出願時に専任教諭（以下「校友教諭」と言います。‘教職歴5年以上’ではありません。）として在職している高等学校を対象とします。

推薦人数枠

1 高等学校あたり2名までとします。出願には当該高等学校長の推薦を必要とします。

推薦基準点

推薦基準点は設けません。

出願までの流れ

- 1) 本入学試験の詳細問い合わせ
(校友教諭 ⇒ アドミッションセンター)
- 2) 募集要項送付 8月下旬
(アドミッションセンター ⇒ 校友教諭)

3) 出願

(受験者 ⇒ アドミッションセンター)

出願資格

次の要件をすべて満たしている方

- ①高等学校もしくは中等教育学校後期課程を2011年3月卒業見込みの方。
- ②工学院大学を卒業または修了後5年以上経過し、現在当該校に在職している専任教諭から、人物、学力とも優れていると認められた方。
- ③当該学校長から推薦を受けた方。
- ④本学の教育目的を充分理解した上、本学で学ぶことを強く希望する方。

教員をなさっている卒業生・修了生の皆様、情報を寄せください。

工学院大学教職課程からのお願い

皆様ご存知のとおり2009年度から教員免許更新制が実施されることになりました。それに伴い、本学でも更新講習の開催準備をしております。詳細については改めて御案内いたしますが、卒業生・修了生の皆様にはぜひ本学での更新講習を受講いただくようお願い申し上げます。

この機会に本学卒業生・修了生で教員をされている皆様のネットワークを作りたいと存じます。卒業生・修了生で教員をされている皆様、学校種（小、中、高、特別支援等）や採用形態（常勤・非常勤等）にかかわらず、次の事項をお知らせくださいるようお願い申し上げます。また友人、先輩、同僚など同窓生で教員をされている方をご存じの場合も合わせてお知らせ下さい。

1) お名前、2) 卒業学科（修了課程）、3) 卒業（修了）

年月、4) 取得免許状、5) 勤務校、6) 担当教科、7) 役職、8) 資料等送付先（自宅住所または勤務先所在地）、9) 電話番号、10) FAX番号、11) メールアドレス

連絡は、郵便、FAX、メールのいずれでもけっこうです。提供いただいた情報は教職課程として責任を持って管理し、大学としての資料送付と連絡にのみ利用し、それ以外での利用をしません。

*今後、教員になる予定の方のご連絡もお待ちしております。

<連絡先> ☎ 163-8677

東京都新宿区西新宿1-24-2

工学院大学新宿教務課教職担当（池田）

電話；03-3340-0884 FAX；03-3342-5304

e-mail；skyomu@kogakuin.ac.jp

校友会事務局からのお知らせ・お願ひ

◆「卒業生バックアップセンター」が平成22年4月より開設

工学院大学の卒業生だけが利用できる高性能なWebサイトです。卒業生限定の転職情報が見られる「キャリアアップ」や同窓生を検索できる「コミュニティー」など暮らしを彩る、色々な機能が充実しています。転職活動や技術交流、懐かしの同じ研究室や同窓生との連絡・交流には是非とも活用下さい。

◆維持協力会費納入のお願い

在学中に納入していただいている終身会費だけでは校友会の運営が難しくなってきています。工学院大学校友会としては、学園に対して今まで以上の支援を考えております。平成21年度の維持協力会費の実績は、650名の方々から納入いただき2300千円の実績となっておりますが、皆様方の更なるご協力をよろしくお願いいたします。

◆E-mailアドレスをお持ちの方は是非お届け下さい

平成14年3月から会員に対してE-mailによる情報ネット発信態勢の構築に取り掛かっており、現在、3200名の登録があります。定期的に学園や校友会の情報を発信しておりますのでE-mailアドレスをお持ちの方（携帯電話は不可）、一度お届け後変更された方は同封の総会出席通知にご記入の上、投函下さいますようお願いいたします。なお、既に情報を受け取られている方は再登録の必要はありません。

◆工学院大学校友会STEC VISAカードのご案内

工学院大学校友会STEC VISAカードは、

1. 工学院大学校友会会員・在学生ならびに教職員の方と家族だけがお持ちいただけるエンブレムカードです。（工学院大学校友会と三井住友カード株が提携発行する公認カードです）
2. 会員の方がこのカードをお使いになると、その利用額に応じた提携手数料が還元金としてカード会社から校友会に入金され、学園援助費、学生・生徒活動の援助費の一部に充当されます。なお、カード使用に当たっては通常のクレジットカードと同じ手数料以外は一切負担となることはありませんので申し込み希望の方は同封の総会委任状の連絡欄に○印をつけてご返送下さい。この件のお問い合わせは校友会事務局までお願いいたします。

校友会とは無関係の名簿業者にご注意下さい！

最近、校友会や学園といかにも関係がありそうに装っての名簿データの提出依頼が横行しております。しかしながら、この種の働きかけは校友会でも学園でも一切行なっておりません。校友会で行なう場合は、必ず、「校友会報」や「校友会のHP」でお知らせの上実施しますので、添付のようなハガキが届きましたら、このような業者とは全く関係がないことをご承知の上、処分する、無視する等の対処をお願い致します。

校友会事務局

◆校友会のホームページを開いて見て下さい。

校友会のホームページは、各種の行事案内と報告、会員の歴史等のトピックスなど情報満載です。全国大会や総会・新年会の写真もたくさん掲載されておりますので、ぜひご覧下さい。事務局の休業日等も掲載されており、ご来校の予定の前にはご確認頂くこともできます。

校友会HP URL : <http://www.kogakuin.or.jp>
会員のページ2のパスワード koyukai

TEL 03-3342-2064・03-3340-1649 FAX 03-3342-2035
E-mail jimukyoku@kogakuin.or.jp

◆訃報

次の方がご逝去されました。ご生前のご活躍を偲び謹んでご冥福をお祈りいたします。

中学・高等学校校長	太田 忠之氏 (平成21年8月3日)
校友会元副会長	片岡 国牟氏 (平成21年11月8日)
新潟県支部副支部長	桑原宗一郎氏 (平成21年11月12日)
名誉顧問	伊藤 鄭爾氏 (平成22年1月31日)
名誉教授	横田 道夫氏 (平成22年3月1日)
名誉教授	関谷 道雄氏 (平成22年3月10日)



片岡 国牟氏

(昭39大学1部工業化学科 化学工学コース卒)

平成20年9月から肺ガンのため入院を繰り返しておりましたが、平成21年11月8日(日)午後3時38分にご逝去されました(享年72歳)。

片岡氏は校友会副会長を三期、理事を五期務められ、その誠実なお人柄と開拓精神にあふれた積極性は、われわれの指針でありました。また、学園の評議員会副議長を務められ、大変愛校心の強い方でした。片岡氏のその偉業に対し、心から尊敬と感謝を捧げ、謹んで氏のご冥福をお祈り申し上げます。



各部会の平成21年度活動報告 総務部



副会長／部長
渡辺 征一郎 (左)
副部長
島林 正美 (右)

■平成21年度総務部活動報告

1. 平成21年度校友会評議員会・総会および懇親会の開催
2. 常任理事会・理事会の適宜開催
3. 校友会定款の改定作業着手
4. 校友会各種データの電子データ化推進
5. その他校友会の運営に必要な各種取り組み

■上記の進捗状況(上記の項目No.と対応しています)

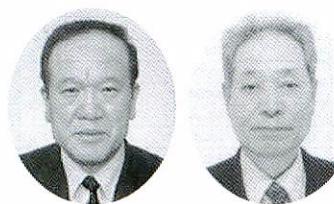
1. 平成21年5月31日に開催しました。
今回の評議員会・総会から省電型トランシーバーを活用し、総務部会担当者同士の連絡上の

問題点を解消し、スムースな運営が実現できました。今後の校友会の活動にも活用を図る予定です。

2. 平成21年度はこれまで常任理事会10回、理事会4回を開催し、必要事項についての審議を滞りなく消化しております。
3. 総会において4件の定款施行細則の改定を行いました。(校友会報参照)
一般社団法人への移行に関連した作業は着手しておりませんが、サンプルの公表が間近となってきたので間もなくの着手となります。
4. 評議員会・総会議事録、理事会議事録、常任理事会議事録のPDF化、各種会議の音声のCD録画を実施いたしました。
5. 「卒業生バックアップセンター」設立に伴う秘密保持契約書、業務提携契約書その他の文書の確認他を行いました。

理事:横田仁、田中英生、伊藤雄朗、久禮和彦、北澤興一、木本勝正、飯塚辰典、佐久間惣喜

財務部



副会長
渡辺 征一郎 (上左)
部長
並木 光雄 (左)
副部長
若栗 徳男 (右)

■平成21年度財務部活動報告

1. 平成20年度収支決算処理を実施し、5月の総会で報告した。
 - ・平成20年度収支決算の処理を実施し、監事による会計監査を受けた。
 - ・特に問題はなかった。
2. 校友会会計処理チェックと残高確認の実施。
 - ・会計処理チェックマニュアルにより、四半期ごとに4回実施した。
 - ・特に問題はなかった。
3. 校友会監事による単体同窓会の会計監査(平成20年度)を支援した。

- ・附属高等学校……………7月27日に実施した。
 - ・応化会、電気電子情報……8月1日に実施した。
 - ・機械系、建築系学科、専門学校……8月8日に実施した。
 - ・特に問題はなかった。
 - ・同窓会運営の透明性を高めることと、高校同窓会問題の再発防止を目的として始めた校友会監事による会計監査は定着してきた。
4. 維持協力会費の増収支援をした。
 - ・学生からの前受会費徴収方式の変更に伴い収入が減少したため、前年に引き続き増収支援をする。
 - ・同窓会別実績表を作成して関係する部門へ協力要請をした。
 - ・維持協力会費の増収方法等について検討をした。
 5. 平成22年度予算編成の実施。
 - ・予算編成は中期計画(3年)で策定し、予算案を作成した。

理事:関谷重彦、朝比奈明、田中久弥、濱根洋人、田中正裕、三宅捷夫、渡辺征三、西原康二

企画・広報部



副会長／部長
田野邊 幸裕 (左)
副部長
太田 正利 (右)

■平成21年度企画・広報部活動報告

企画・広報部の役割は、校友会報誌の発刊と校友会ホームページの運営が、主な活動内容で1回/月ペースで打合せを重ねている。

会報誌vol.130は、「脱ゴミ箱」を合言葉に編集に取り組みました。

特に学園が125周年を迎えるにあたり、長い歴史の中での卒業生の活躍を紹介した内容の充実に努め、誌面のカラー化、表紙のコンペ募集、広告掲載(卒業生の活躍企業紹介・財政面)等に取り組みました。65,500部を、会員や学生に配布いたしました。

昨年5月の総会時に会報誌内容を確認・反省する意味で、アンケート調査を実施した結果は、概ね及第点

(アンケート総数66名中63名が普通以上、3名無記名)の評価を頂きました。

その結果を受けて、次号vol.131は昨年度の企画を継承することにして編集作業を進めています。

校友会報2010 Vol.131の主要な内容

- ・表紙はコンペにて募集(締切り10月26日)で14点の応募有り(11月19日決定)
 - ・創立125周年特別企画2点。
 - 茅原 健「古書三題」
 - 浅羽 英男「皇室建築と工手学校」
 - ・各同窓会同窓生の記事など
1. 建築系学科同窓会
 - 戸村 英子氏「建築とランドスケープ・アーキテクチャに魅力を感じる」
 2. 応化会
 - 溝上技術士事務所 代表 溝上 俊治 氏「私の途」
 3. 専門学校同窓会
 - 細川洋治 工学博士「構造設計から学んだこと」
 4. 電気系同窓会
 - 田中和紀 院生 音情報処理研究室

5. 高校同窓会
白鳥 熱「黒をきわめる」
 6. 機械系同窓会
平野嘉一「FEM の出会いとその後」
- 今期は、新会長を含み役員改選期であるため、組織図、部会報告の顔写真等の対応が課題と考えながら、学生プロジェクトや 125 周年に向けての記事、並びに

「支部だより」として事前に情報提供を頂いている東京支部と埼玉中央・西支部を予定しています。

また、会員等への情報の伝達手段として、ホームページの役割が非常に重要であり、効果的であることから、TOP ページを変更して運営しています。

理事：田村久義、都築登輝浩、吉川重克、名取勝敏、大場光博、岡安 彰、佐藤敏勝、

組織・事業部



副会長
高田 貢
部長
來住 康弘 (左)
副部長
加藤 隆弘 (右)

■平成 21 年度組織・事業部活動報告

2009 校友会報 vol.130 P41 に H20 年度活動報告と H21 年度活動計画掲載。

■平成 21 年度組織・事業部活動計画

1. 部会: 6回(内 1~2 回首都圏支部長会兼ねる)開催。
後援会との打ち合わせ 2 回予定
2. 支部との連携強化: メール転送システムによる双方向利用促進
3. 支部総会: 大学からの講演も予定
4. 第 17 回全国大会埼玉大会準備
5. 大学後援会との連携。学園連携部とともに実施。
6. 新年会「新春の集い 2010」参加人数増加と固定化打破
7. 125 周年記念事業募金: 募金委員会、同窓会、支部と連携図り遂行

■進捗報告 (上の項目に対応しております)

- 1 年間スケジュールに沿い、部会や首都圏支部長会も 7 月 10 日に第 2 回部会を開催した。
- 2 このツールを利用する事で迅速化、経費節減が図れた。
過去 3 回開催した首都圏支部長会もこれに置き換え、発展的解消をしたのはお知らせをした通りです。
- 3 4 月 9 日の富山県支部総会を皮切りに 40 支部終了。各支部の参加状況などは、支部長へのアンケートのまとめ(送付済み)で分かりました。
- 4 埼玉県中央支部と埼玉県西支部との合同開催。「全国大会開催マニュアル」に沿って進めております。
皆様にアンケート協力も願っております。
- 5 今年度予定をしていた大学後援会支部総会(東京、千葉、新潟)に参加した。
- 6 「ライブで楽しみましょう」を校友会 HP に掲載。290 名の出席。
- 7 景気低迷も関係していると思うが、低調である。
ご協力お願いいたします。
関連…維持協力費も低調。約 800 名 / 65,000 名 ≈ 1.2% 各支部においても同様と思いますが少人数で同じ人に協力を願う形になっております。

理事：前田道徳、大津幹太郎、吉田幹雄、小沢和重、谷口宗彦、鈴木 久、中島孝明、梶野和己

学園連携部



副会長／部長
姫野 有文 (左)
副部長
池崎 誠 (右)

■平成 21 年度学園連携部活動報告

1. 2010 年度校友子女特別入試への取組み
 2. 第 9 回ホームカミングデーの後援
 3. 大学後援会との連携
 4. 「卒業生バックアップセンター」の設立への取組み
- 上記の進捗状況(上記の項目 No. と対応しています)
1. 案内書を作成し、15000 部を 8 月上旬に発送した。
10 月 28 日締切りで、11 月 7 日に試験が実施されました。
 2. 昨年度開催の第 8 回ホームカミングデーから、学園連携部で後援活動を行うことになった。今年度も 11 月 3 日に開催され、10 月 15 日運営委員会が開催されました。
 3. 大学後援会の千葉・新潟支部父母懇談会に参加し、相談窓口での対応等の活動を行った。
 4. SNS のネットワーク確立を計画してきたが、その機能の他に再就職等卒業生に対する取組みを附加した「卒業生バックアップセンター」の設立に向けた活動を行った。現在、具体案が纏まり、

2010 年 1 月末に先行登録サイトをオープン、3 月末には本サイトオープンを目指し、支部の皆様には先行登録サイトオープンの日程が決定したら、通知する予定。

5. 学園の現況
大学では 18 才人口の減少により志願者減となっているが、校友会では法人と協力しながら増加に転じるよう努力している。具体的には「学園に対する提言」とし、理事会で纏めて提出する。学園は、入学後に対しては、学習支援センター、学生相談室を設け、学習面、生活面共にバックアップしている。附属中学、高校での志願者数は順調で、特に中学では高倍率な入試となっており、また、「学生プロジェクト」として、在学中に学部、学科の枠を超えてモノ作りを行う活動など、大学が応援する制度も行われている。

最後に大学の就職率は、高水準を保っており、校友会からも就職支援アドバイザーとして 5 名が JOB STATION で学生達への確かなアドバイスを行っている。

附属中学・高等学校の太田忠之校長が、8 月 3 日急逝され、後任の校長として宮下正昭校長が着任した。

理事：近藤智、佐藤浩安、鷹野一朗、後藤敏明、初田亨、岡村 大、坂口教子

「第65回評議員会・第54回総会」開催のお知らせ

1. 日 時 平成22年5月30日(日)13:30~
2. 場 所 新宿キャンパス 3階「アーバンテックホール」
3. 議 案 第1号議案 平成21年度事業報告承認の件
第2号議案 平成21年度収支決算ならびに財産目録承認の件 監査報告
第3号議案 平成22年度事業計画(案)承認の件
第4号議案 平成22年度収支予算(案)承認の件
第5号議案 定款施行細則改定の件
第6号議案 校友会役員の名誉会員推戴の件
4. 報告事項 校友会新役員の紹介、学園創立125周年記念事業募金の件、青森県支部問題、高校同窓会問題、その他
(注1) 本誌同封封書により、折り返し出欠についてご回答下さい。封書は80円切手をお貼り下さい。
(注2) 定款施行細則により、当該議事について意思表示のない場合は同意の意思があったと見なして出席者に加えることが出来ることになりますのでこの点予めご了承下さい。
(注3) 評議員会・総会で意見のある方は事前に事務局までFAX03-3342-2035にてご意見をお寄せ下さい。

「総会当日のプログラム」

◆評議員会・総会

受付 ● 13:00~
開会 ● 13:30
議事 ● 14:00~

◆学園近況報告・表彰式等

学園近況報告 ● 15:45~
学生・生徒の表彰状贈呈 ● 16:00~



◆講演会

記念講演 ● 16:30~17:30
演題:「工手学校とその教育ネットワーク」
講演者 ● 茅原 健氏

中央大学法學部卒業
工学院大学学園再開発本部部長を経て、「エステック(株)」の専務取締役。その後、(財)日本私学教育研究所の専任研究員、理事。現在、工学院大学参与。著書に『新宿・大久保文士村界隈』、『工手学校』など。

なお、講演会終了後中層棟7階食堂にて17:40から懇親会を開催いたします。

第6号議案

校友名誉会員推戴者

■名誉会員推戴者

機械系同窓会	渡辺 征一郎、前田 道徳	建築系学科同窓会	笹原 克、田野邊 幸裕
応化会	若栗 徳男、都築 登輝浩	附属高等学校同窓会	池崎 誠、太田 正利
電気電子情報同窓会	長嶋 秀世、高橋 静昭	専門学校同窓会	梶野 和巳、中島 孝明、酒井 史生

学生・生徒の表彰報告(平成21年度総会において)

大学院	専攻	氏名
機械工学専攻2年	石黒 貴士	
化学応用学専攻2年	牛島 純也	
電気・電子工学専攻1年	横溝 拓也	
情報学専攻1年	吉野 祥	
建築学専攻2年	齊藤 寛徳	

大学	専攻	氏名
工学部1部	機械工学科2年	宮崎 浩幸
工学部1部	機械システム工学科2年	森 要
工学部1部	機械システム工学科2年	下釜 康平
GE学部	機械創造工学科2年	田中 健章
工学部1部	応用化学科2年	川内 竜也
工学部1部	環境化学工学科2年	小貫 直人
工学部1部	マテリアル科学科2年	佐野 和真
工学部1部	電気システム工学科2年	宮野 悟

大学	専攻	氏名
工学部1部	情報通信工学科2年	小澤 孝幸
情報学部	コンピューター科学科3年	桐山 大
情報学部	情報デザイン学科4年	北野 千絵
工学部1部	建築学科2年	石井 千歳
工学部1部	建築学科2年	根本 大輔
工学部1部	建築都市デザイン学科2年	石田 貴大
工学部2部	建築学科2年	由佐 貞謙
附属高等学校	学年	氏名
	中高一貫コース3年	峰尾 真紀子
	文理特進コース3年	志賀 雄幸
	普通コース2年	尾本 貴亮
附属中学校	学年	氏名
	3年	中坊 彩花
	2年	市川 駿

第 1 号議案

平成 21 年度事業報告

平成 21 年度において下記の通りの事業活動を行いました。

事業に関する定款条文	事業内容
1. 学校の教育施設に関する助成 (定款第 5 条第 1 項)	1. 学園援助費寄付
2. 学校に在学する学生・生徒の学習活動および就職活動ならびに教職員の調査研究の助成 (定款第 5 条第 2 項)	1. 学生・生徒の研修援助 ① 優秀学生の表彰 ② 学生の研修活動に対する援助・支援
3. 会誌および学術図書の刊行 (定款第 5 条第 3 項)	1. 校友会報 130 号の発行 (65,500 部) 2. 会員名簿の更新・ラベルの発行
4. 学術に関する講演会および見学会等の開催 (定款第 5 条第 4 項)	1. 学術講演会開催 (総会開催時) 2. 各支部単位での見学会の開催
5. 会員相互の親睦提携および学校との連絡を図るために必要な施設の設置 (定款第 5 条第 5 項)	1. 新春の集い・懇親会の開催 2. 総会後の懇親会の開催 3. 各支部の支援および支部組織の活性化 4. 各種同好会活動の支援 5. 各支部総会・懇親会の開催 (40 支部 735 名) 6. 沖縄全国大会開催 7. 第 9 回ホームカミングデー開催の後援 8. 学園が行なう社会活動への援助・支援 9. 学園支援へ向けた活動の実施
6. 学校の行う就職の斡旋および紹介に関する援助 (定款第 5 条第 6 項)	1. 就職の支援 2. 大学後援会との懇談会開催
7. その他目的を達成するために必要な事業 (定款第 5 条第 7 項)	1. 学園創立 125 周年記念事業への積極的支援 2. 「卒業生バックアップセンター」設立の準備推進 3. 一般社団法人移行への準備

第 3 号議案

平成 22 年度事業計画(案)

平成 22 年度において下記の通り事業活動を行います。

事業に関する定款条文	事業内容
1. 学校の教育施設に関する助成 (定款第 5 条第 1 項)	1. 学園援助費寄付
2. 学校に在学する学生・生徒の学習活動および就職活動ならびに教職員の調査研究の助成 (定款第 5 条第 2 項)	1. 学生・生徒の研修援助 ① 優秀学生の表彰 ② 学生の研修活動に対する援助・支援
3. 会誌および学術図書の刊行 (定款第 5 条第 3 項)	1. 校友会報 131 号の発行 2. 会員名簿の更新・住所ラベル等の発行
4. 学術に関する講演会および見学会等の開催 (定款第 5 条第 4 項)	1. 学術講演会開催 (総会開催時) 2. 各支部単位での見学会の開催
5. 会員相互の親睦提携および学校との連絡を図るために必要な施設の設置 (定款第 5 条第 5 項)	1. 新春の集い・懇親会の開催 2. 評議員会・総会後の懇親会の開催 3. 各支部の支援および支部組織の活性化 4. 各種同好会活動の支援 5. 各支部総会・懇親会の開催 6. 学園支援へ向けた活動の実施 7. 第 10 回ホームカミングデー開催への積極的な後援 8. 第 17 回校友会全国大会(埼玉大会)開催準備 9. 学園が行なう社会活動への援助・支援
6. 学校が行う就職の斡旋および紹介に関する援助 (定款第 5 条第 6 項)	1. 就職の支援 2. 後援会との連携強化
7. その他目的を達成するために必要な事業 (定款第 5 条第 7 項)	1. 学園創立 125 周年記念事業への積極的支援 2. 「卒業生バックアップセンター」の開設・運用開始 3. 一般社団法人への移行に伴う定款・細則の改定案検討

校友会定款施行細則改定案

改 定 案	現 行
<p>(評議員および役員の選出)</p> <p>第5条 (同 右)</p> <p>2. (同 右)</p> <p>3. (同 右)</p> <p>4. 会長は、選出された理事から副会長を2人以内指名し、理事会の承認を得るものとする。</p> <p>5. 会長は、会員から副会長または常任理事を2人以内指名し、理事会の承認を得るものとする。</p> <p>なお、会員から選出された副会長または常任理事は、所属同窓会の理事に追加する。</p> <p>6. 常任理事（部長、副部長）は、会長が、前項の選出理事から<u>1人</u>を指名し、理事会の承認を得るものとする。ただし、各同窓会から1名以上を指名することとする。</p> <p>7. (同 右)</p> <p>8.1 項、2項、6項について理事会で承認した場合は、この限りでない。</p>	<p>(評議員および役員の選出)</p> <p>第5条 評議員は各同窓会より30人を選出する。</p> <p>2. 理事は各同窓会から8人を選出する。</p> <p>3. 会長は、理事会において選出する。</p> <p>4. 会長は、副会長を2人～4人指名し、理事会の承認を得る。ただし、2人については、理事からの指名とし、残りについては、会員から指名する。</p> <p>なお、会員から選出された副会長は、所属同窓会の理事に追加する。</p> <p>5. 常任理事（部長、副部長）は、会長が、前項の選出理事から<u>8人</u>を指名し、理事会の承認を得る。ただし、各同窓会から1名以上を指名することとする。</p> <p>6. 評議員および役員の入れ替え、補充については、理事会で承認を得た後、評議員会において報告する。</p> <p>7.1 項、2項、5項について理事会で承認した場合は、この限りでない。</p>

平成22年度支部総会開催予定表

2010.3.31現在

支部 名称	開催日時	開催場所	支部 名称	開催日時	開催場所
山口県支部	4月 18日(日)11:00	海峡ビューモのせき	東芝支部	7月 2日(金)18:15	工学院大学 28F
広島県支部	4月 24日(土)16:00	ますみ	川崎支部	7月 3日(土)12:00	横浜みなとみらい(クレージング)
栃木県支部	5月 16日(日)14:00	ホテル ニューイタヤ	横浜支部	ク ク ク	
鹿児島県支部	5月 21日(金)18:30	パレスイン鹿児島	湘南支部	ク ク ク	
岩手県支部	5月 22日(土)15:00	未定	相模支部	ク ク ク	
三重県支部	5月 23日(日)11:00	アスト津	西湘支部	ク ク ク	
埼玉県中央支部	6月 5日(土)14:00	浦和パルココミュニティセンター会議室	長崎県支部	ク (土)18:00	登利亭
埼玉県西支部	6月 6日(日)16:00	東松山紫雲閣	北海道支部	9月 4日(土)18:00	未定
西東京支部	6月 12日(土)14:00	八王子クリエイトホール	長野県支部	10月 2日(土)18:00	松本ホテル花月
千葉県支部	6月 13日(日)12:00	工学院大学 28F	新潟県支部	10月 23日(土)13:00	日本海庄や
宮城県支部	6月 13日(日)16:30	天狗	東京支部	10月 24日(日)13:00	工学院大学 28F
山梨県支部	6月 18日(金)18:30	ベルクラシック甲府	福島県支部	11月 6日(土)16:00	いわきゆつたり館
関電工支部	6月 25日(金)18:30	未定	大分県支部	11月 13日(土)18:00	未定
山形県支部	6月 26日(土)18:00	山形国際ホテル	沖縄県支部	11月 20日(土)18:30	サザンプラザ海邦
高知県支部	6月 26日(土)18:00	早川	京滋支部	12月 4日(土)18:00	ホテルグラン京都清水
体育連合OB会	6月 27日(日)13:00	工学院大学			

校友会本部役員、各支部長への連絡は下記の e-mail アドレスをご利用ください。（※校友会のサーバーに一定期間保管されます）

本部役員・支部長メールアドレス一覧

2010.4.1現在

名 前	メーリアドレス	名 前	メーリアドレス
会 長	kaicyo@kogakuin.or.jp	横 浜 支 部	yokohama@kogakuin.or.jp
副 会 長	fukukaiicyo@kogakuin.or.jp	相 模 支 部	sagami@kogakuin.or.jp
総務部長	somu-bucyo@kogakuin.or.jp	湘 南 支 部	syonan@kogakuin.or.jp
総務部副部長1	somu-fukubucyo1@kogakuin.or.jp	西 湘 支 部	seisyo@kogakuin.or.jp
総務部副部長2	somu-fukubucyo2@kogakuin.or.jp	石 川 支 部	ishikawa@kogakuin.or.jp
財務部長	zaimu-bucyo@kogakuin.or.jp	福 井 支 部	fukui@kogakuin.or.jp
財務部副部長	zaimu-fukubucyo@kogakuin.or.jp	長 野 支 部	nagano@kogakuin.or.jp
企画・広報部長	kikakukoho-bucyo@kogakuin.or.jp	愛 知 支 部	aichi@kogakuin.or.jp
企画・広報部副部長	kikakukoho-fukubucyo@kogakuin.or.jp	三 重 支 部	mie@kogakuin.or.jp
組織・事業部長	sosikijigyo-bucyo@kogakuin.or.jp	兵 庫 支 部	hyogo@kogakuin.or.jp
組織・事業部副部長	sosikijigyo-fukubucyo@kogakuin.or.jp	鳥 取 支 部	tottori@kogakuin.or.jp
学園連携部長	gakuenrenkei-bucyo@kogakuin.or.jp	島 根 支 部	shimane@kogakuin.or.jp
学園連携部副部長	gakuenrenkei-fukubucyo@kogakuin.or.jp	広 島 支 部	hiroshima@kogakuin.or.jp
監 事	kanji@kogakuin.or.jp	山 口 支 部	yamaguchi@kogakuin.or.jp
事務局長	jimucyo@kogakuin.or.jp	香 川 支 部	kagawa@kogakuin.or.jp
事務局	jimukyoku@kogakuin.or.jp	福 岡 支 部	fukuoka@kogakuin.or.jp
北海道支部	hokkaido@kogakuin.or.jp	長 崎 支 部	nagasaki@kogakuin.or.jp
青森県支部	aomori@kogakuin.or.jp	大 分 支 部	oita@kogakuin.or.jp
岩手県支部	iwate@kogakuin.or.jp	宮 崎 支 部	miyazaki@kogakuin.or.jp
宮城県支部	miyagi@kogakuin.or.jp	鹿 児 島 支 部	kagoshima@kogakuin.or.jp
山形県支部	yamagata@kogakuin.or.jp	沖 縄 支 部	okinawa@kogakuin.or.jp
福島県支部	fukushima@kogakuin.or.jp	清 水 建 設 支 部	shimz@kogakuin.or.jp
埼玉県中央支部	saitama-chuo@kogakuin.or.jp	日本電気支 部	nec@kogakuin.or.jp
埼玉県西支部	saitama-nishi@kogakuin.or.jp	東 芝 支 部	toshiba@kogakuin.or.jp
東 京 支 部	tokyo@kogakuin.or.jp	関 電 工 支 部	kandenko@kogakuin.or.jp
西 東 京 支 部	nishi-tokyo@kogakuin.or.jp	学 園 支 部	gakuen@kogakuin.or.jp
川 崎 支 部	kawasaki@kogakuin.or.jp	体育会連合OB会支 部	taiiku-ob@kogakuin.or.jp

三和シャッターグループは、「安全」「安心」「快適」を提供することにより、社会に貢献いたします

既存の家にも、新築の家にも
簡単に取付できます

ホームエレベーター 「気分乗々」



低価格 製品代は1,300,000円（税抜き）から

コンパクト 畳半畳分のスペースがあれば設置可能

簡単施工 エレベーター設置工事は2日間

問合せ先: 0120-0909-30 (ホームエレベーター支店)

三和シャッター工業株式会社

〒175-0081 東京都板橋区新河岸2-3-5

顧問 渡辺静雄(電気工学科:昭和39年卒:空手道部OB)

ホームページ://www.sanwa-ss.co.jp

知的財産ビジネス支援の専門職集団

太陽国際特許事務所

所長・弁理士・博士(工学) 中島 淳 (S44機械卒・H14大学院電気電子卒)

機械建築担当弁理士	福田浩志 (副所長) 針間一成 内田英男 澤田修孝	清武史郎* 鈴木悦郎 江口和敬*	堀江千鶴* 高橋尚子* 御橋優子*	坂手英博* 河野元浩* 上野敏範*
電気電子担当弁理士	加藤和詳 (副所長) 小早川千佳子	百瀬尚幸 大古奈奈*	美濃好美* 鈴木沙緒里	佐久間頤治* 宮本治彦
化学材料担当弁理士	西元勝一 小林美貴*	並川啓志* 設樂修一	都野真哉* 村澤 彰	上條由紀子* 西山 崇*
バイオ薬品担当弁理士	長野みか* 山中裕子* 渡邊裕子	前嶋恒夫* 醍醐美知子*	水谷泰嗣* 山極美穂	早瀬貴介 膝館祥治
商標法律担当弁理士 米国特許弁護士 中国弁理士 韓国弁理士	山田昌子* シェルダン・モス 董 昭 金 暢河	樋熊美智子* チャド・ヘリング	高橋史保* チャド・ヘリング	赤羽桃子

*特定侵害訴訟代理業務付記

東京本部: 東京都新宿区新宿4丁目3番17号 ダヴィンチ新宿8階 〒160-0022

電話 (03) 3357-5171 (代表) フアクシミリ (03) 3357-5180 (代表)

http://www.taiyo-nk.co.jp 相談・連絡用 E-mail: info@taiyo-nk.co.jp
U.S.オフィス: 米国バージニア州

皆様の実験を支えるパートナー



試薬・工業薬品・高純度試薬
理化学器具・機械・各分野の
測定器・ガラス・樹脂加工品等

ISO14001:2004/JIS Q 14001

: 2004、EMS 523709

大成化学株式会社

本社：〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-6

TEL 03 (3252) 3336 FAX 03 (3252) 2829

e-mail taisei-k@giga.ocn.ne.jp

埼玉営業所：〒350-1333 埼玉県狭山市上奥富316

TEL 042 (955) 1637 FAX 042 (955) 1638

e-mail taisei-k@eagle.ocn.ne.jp

栃木営業所：〒321-3425 栃木県芳賀郡市貝町多田羅字西原1345

TEL 0285 (68) 4848 FAX 0285 (68) 4847

e-mail t.taiseikagaku@tuba.ocn.ne.jp

ISO9001 ISO14001



電気設備 設計施工



太陽光発電システム・オール電化設備
設計施工

電力制御機器装置 設計施工

牧野電設工業株式会社

代表取締役 牧野 光洋
(1979年 専門学校電気科卒)

本社 〒166-0013
東京都杉並区堀ノ内 3-25-5
TEL 03-3313-2511(代表)
FAX 03-3313-2509

甲府営業所 〒409-3864
山梨県中巨摩郡昭和町押越 1519-3
TEL 055-268-6016
FAX 055-275-4015

URL <http://www.makino-dk.co.jp/>

澤口会計事務所

★コミュニケーションを大切にしています★

法人税（決算・申告・設立等）
所得税（個人の確定申告）、消費税
相続税、贈与税、節税対策、調査立会
給与計算、各種相談業務

お気軽に御相談下さい！
税務相談随時実施中（初回無料）

所長 税理士 澤口 豊

昭和62年 電気工学科卒業 自然科学研究部OB

東京都小金井市東町4-38-27-2F
(JR中央線 東小金井駅南口 徒歩2分)
TEL 042-386-7080・FAX 042-386-7081
E-mail sawaguchi-kaikei@globe.ocn.ne.jp

校友会ホームページのご案内
URL <http://www.kogakuin.or.jp/>

校友会ではホームページを運営し、行事日程や
活動報告などタイムリーな情報や、支部、同窓会、
学園の案内などを提供しております。イベントの
記念写真などは校友会員の皆様だけがアクセスで
きる会員ページで閲覧できます。また住所変更や
各種問い合わせなどもメールで受付可能となっ
ていますので、一度覗いてみませんか？

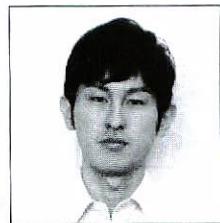
（会員ページのパスワードは koyukai ）



工学院大学校友会 企画・広報部からのお知らせ

■校友会報の表紙デザインのコンセプト 坂間慶介

工学院大学大学院修士課程工学研究科建築学専攻 修士1年 谷口研究室 坂間慶介（さかまけいすけ）
神奈川県立上鶴間高校 卒業



■現在、過去そして未来

少し前までは誰かが腰掛けっていたイス。これから誰かが座るイス。

誰も座っていないイスは、過去や未来、そして今という時間が連続した線上にあることに気付かせてくれます。自分が大学を卒業すれば次にはまた新しい学生が入学します。学校もこの写真のイスのように人を迎える、送り出していくことで少しづつ歴史を重ね、過去と未来、現在のという時間を結んでいくことでしょう。

建築だけでなく全てのものは歴史の中で人に使われることで価値を高めていくように思います。人を迎えて入るのは、送り出し、どんな時代になっても変わらない大きな器として工学院大学も歴史を刻み続けて頂きたいです。

きれいにならんだ椅子の写真、裏表紙のコインロッカーの写真はどちらも S A N A A 設計の金沢 21 世紀美術館で撮ったものです。

■校友会のホームページ

校友会に関する各種情報は、次のホームページをご覧下さい。 <http://www.kogakuin.or.jp/>
会員ページはパスワードが必要です。（パスワード：■■■■■ 平成 22 年 6 月～23 年 5 月有効）

■校友会報（Vol.132）の広告募集

「校友会報」の広告を下記の要領で募集します。皆様のご協力をお願い致します。

1. 募集対象：各企業、組織、団体の広告など。
2. 広告代：カラー／表紙裏 1 頁 16 万円、他 12 万円、1/2 頁 6 万円 / 黒一色 1 頁 10 万円、1/2 頁 5 万円
3. 募集〆切：平成 22 年 12 月 21 日（火曜日）
4. 掲載：校友会報 2011 Vol.132 に掲載
5. 原稿送付先：校友会報事務局宛に郵送、電子メール等。E-Mail : jimukyoku@kogakuin.or.jp
6. 原稿形態：Word 文書等の電子データを電子メール、または郵送。
7. 問い合わせ先：校友会事務局 TEL 03-3342-2064 FAX 03-3342-2035、E-Mail : jimukyoku@kogakuin.or.jp
8. 発行予定：平成 23 年 4 月 20 日 9. 発行部数：約 66,000 部 10. 配布先：全国校友会員、学園関係者など

■編集後記

校友会報の編集を担当して最後の 3 回目の春を迎えました。昨年 5 月の校友会総会の際に、会場でアンケート調査を実施し、ご意見を活動の参考にしてきました。誌面をカラー化し、写真を大きく文字数を少なく、学園創立 125 周年に向けて学園の歴史を意識した内容を目指しました。広告掲載も充実させるなどいろいろ改良し、今回の校友会報の印刷部数は 65,800 部となりました。やはり、校友会の活動を熟知して戴くには、会報を通して会員に伝える日々の努力が不可欠だと思います。更に充実した校友会誌に成長する事を、次期担当の企画・広報部に託したいと思います。

校友会報の編集に際して、多くの卒業生・在校生・教職員をはじめ、広告出稿の企業の方々にもご協力戴きました。関係者の皆様、大変ありがとうございます。校友会報の誌面に関して、何かご意見がございましたら、下記のメールアドレス迄、是非ご連絡をお願い申し上げます。

敬具

工学院大学校友会事務局 E-Mail : jimukyoku@kogakuin.or.jp

校友会 副会長 / 企画・広報部長 田野邊幸裕（建築）

副部長 太田正利（高校）

理事 田村久義（機械）、都築登輝浩（応化）、吉川重克（応化）、名取勝敏（電気）、大場光博（建築）、岡安彰（高校）
佐藤敏勝（専門）

Tokyo Urban Tech 工学院大学 校友会報 Vol.131

●発行日 2010 年 4 月 20 日 ●発行 / 工学院大学 校友会

●住 所 163-8677 東京都新宿区西新宿 1-24-2

電話 /03-3342-2064、03-3340-1649 Fax/03-3342-2035

E-Mail : jimukyoku@kogakuin.or.jp <http://www.kogakuin.or.jp>

●編 集 工学院大学校友会 企画・広報部 ●本文デザイン・印刷 / 株式会社 春恒社

住宅ローン、まさか 金利だけ 選ぼうとしていませんか？



ご自身でも、施主様用でも住宅ローンで迷ったら、お気軽に
まず当社にご相談下さい。

意外と見落としがちなのは、

完済するまでの総支払い金額。

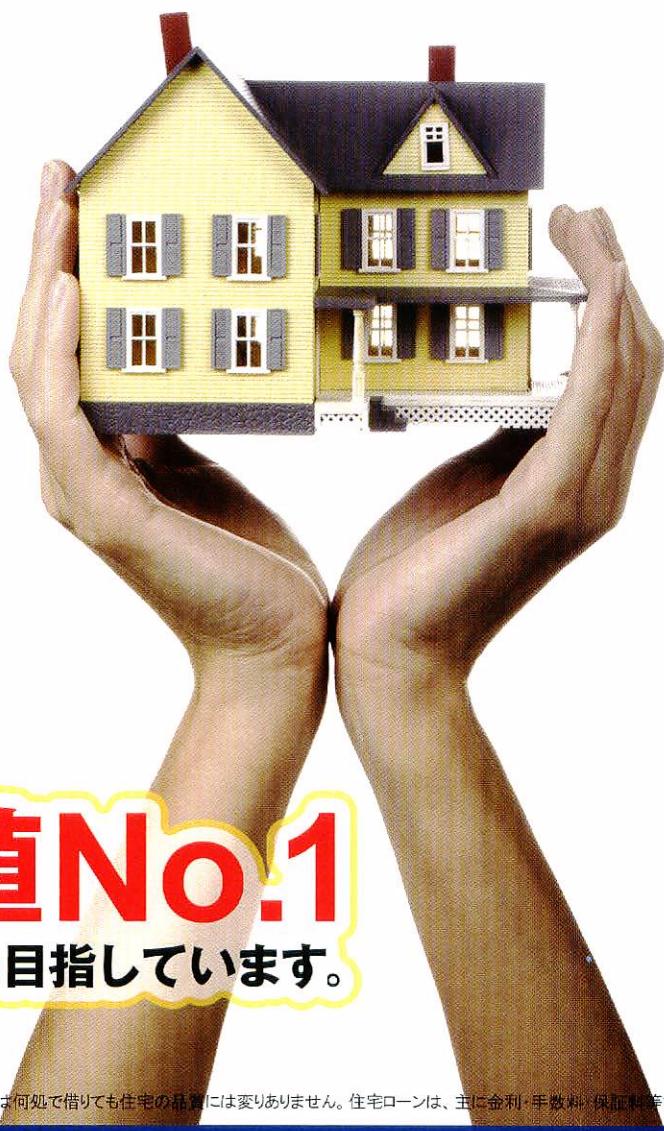
金利だけでは見えませんが、大きな差があります。

繰上返済したい時、

手数料が掛かる場合があることをご存知ですか？

すぐに決めてしまう前に、

「総支払額」を確認してみませんか？



総返済額で

最安値No.1

多くの工学院大学OBの皆様に
お申込いただきました!
誠にありがとうございます!

を目指しています。

住宅取得は一生で一番大きい買物です。住宅ローンは何処で借りても住宅の品質には変りありません。住宅ローンは、主に金利・手数料・保証料等で構成されています。



株式会社 優良住宅ローン

関東財務局長(1)第01443号 【住宅金融支援機構提携金融機関】

<http://www.yuryoloan.jp>

営業 平日 9:00-19:00
時間 土日 10:00-18:00

TEL:03-6457-7472

代表取締役社長 田野謙幸
(建築学科1969年卒業)

□ 本社: 東京都新宿区新宿1-3-12 壱丁目参番館5階 / TEL: 03-6457-7451

■ 神戸支店: 兵庫県神戸市中央区京町79番地 日本ビルディング9階 / TEL: 078-381-5630 (代)

■ 仙台支店: 宮城県仙台市青葉区大町1-2-1 ライオンビル7階 / TEL: 022-352-6071

契約には「北海道から沖縄まで」出張いたします。

【資本金 5億8千万円】

